2024年度　長崎国際大学保護者会

目 次

理事長あいさつ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

学長あいさつ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

大学概要

◆建学の精神・大学の基本理念　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

◆長崎国際大学のポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

◆長崎国際大学　人間社会学部　国際観光学科のポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

◆長崎国際大学　人間社会学部　社会福祉学科のポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

◆長崎国際大学　健康管理学部　健康栄養学科のポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

◆長崎国際大学　薬学部　薬学科のポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

学校法人九州文化学園グループ

◆沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

◆大学の現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

◆在学生の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

情報公開・地域連携

1.　公開している情報について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

2.　財務状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

地域連携室・スポーツ支援振興室 Topics　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

人間社会学部 社会福祉学科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

教務関係資料

1. 2024（令和６）年度　学年暦 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

2. 成績表の見方及びGPA制度の運用について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

3. 出席管理システムについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

茶道文化について

1. 「茶道文化」の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

2. 履修者数および資格取得者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

学生生活関係資料

1. 学生生活について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

2. 奨学制度（奨学金）について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

3. 開国祭（大学祭）のご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

4. キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターについて ・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

国際交流・留学関係資料

国際交流・留学と活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74

留学体験談 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

就職支援関係資料

キャリアセンター就職支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

大学周辺の医療機関（略図） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

お問い合わせ先一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

保護者の皆様へ

学校法人九州文化学園
理事長　安部　直樹

この度は、保護者懇談会にご参加いただきありがとうございます。大学生活をより充実有らしめるためには、学生本人、大学教職員、そしてご家族の皆様の三者が一体となった理解と協力が必要であります。コロナ禍以前の本学保護者会は本学会場に加え、九州すべての地区へ私どもが出向き、ご家族の皆様と直接お会いして本会を開催していました。コロナ禍により 2021 年度からは本学での対面とオンラインでの面談を実施し、すべての保護者様が対象となり、多くの皆様にご参加頂いております。

本学は平成 12 年に、佐世保市、長崎県、地元の企業の支援によって誕生した、公私協力方式の大学であり、その母体は学校法人九州文化学園です。

九州文化学園は幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短期大学、専門学校を併設し、今年で創立 79 年目を迎えています。

大学のモットーは「いつも、人から。そして、心から。」のホスピタリティの理念を有し、この理念を具現化する教育科目として「茶道文化」を開設しています。

おかげ様でそうした理念を十分にご理解いただき、少子化や過疎化の進行にもかかわらず、多くの学生、保護者の皆様より高い評価を頂き定員を充足することができております。

まだ、コロナ禍が完全に解消したわけではありませんが、私たちはウイズコロナで大学の活力を元に戻し、対面授業、年間の行事などは平時に戻って学生の笑顔がキャンパスにあふれています。

本学の教育のモットーは学生ファースト、学生を第一に考え、在学中にどれだけ力を伸ばすことができるか、そのためのきめ細かい教育指導を行っています。

学生が生き生きと大学生活を送れるように教職員一体となって大学教育にあたっております。引き続き本学の教育にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

長崎国際大学の学生ならびに保護者の皆様へ

学長　中村　誠司

長崎国際大学の学生ならびに保護者の皆様、今年の 4 月に学長を拝命した中村誠司です。本学は、2000 年に開設され、まもなく四半世紀を迎える若い大学です。まだまだ成長途上にあり、伸び代のある大学ですので、何よりも学生諸君が大学生活を存分に楽しめることを大切にしながら、本学のさらなる充実と発展に尽力をしたいと思っています。恥ずかしながら、人生初の単身生活を始めましたので、毎日の昼食は学生諸君と一緒に学食でいただいています。学生に身近な存在で、気軽に話ができる学長でありたいと思っていますので、宜しくお願い申し上げます。

学生諸君は、大学生活に対して強い憧れを持ち、意欲や希望に満ち溢れているのではないかと思います。コロナ禍の煽りを受け、昨今の大学生活は多方面で行動制限を余儀なくされ、存分に楽しめる状況ではありませんでした。しかし、何とかコロナ禍も落ち着いてきましたので、十分な感染対策さえ行えば、従前どおりの行動制限のない大学生活を送れると思います。本学は、日本で最初に新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施するなど、積極的に感染対策に取り組んでまいりました。今後も必要に応じて迅速かつ適切な対応を行い、学生諸君が心身ともに健全に安心・安全な大学生活を楽しめるようにいたします。

本学のモットーは「いつも、人から。そして、心から。」です。本学の建学の理念として、「人間尊重を基本理念に、よりよい人間関係とホスピタリティの探求・実現、並びに文化と健康を大切にする社会の建設に貢献する教育・研究」を掲げています。この理念のもとに、「ホスピタリティ」の精神を理論と実践で学ぶ教養科目として「茶道文化」を設けており、本学の教育の特徴の一つとなっています。日本独自のホスピタリティを表す言葉として「おもてなし」があります。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の誘致活動の際に、キーワードが「おもてなし」だったことは記憶に新しいと思います。その後も、日本の選手や応援団が試合の後に率先してロッカールームや観客席を掃除するたびに、さらには災害時などの大変な状況下においても、日本人の行動は世界から称賛を浴びています。これらの日本人の行動は「ホスピタリティ」の精神に基づいていますので、本学独自の学びを通じて、日本人の学生は改めてその精神を強固なものに、留学生は日本で学ぶ意義の一つにしていただければと思います。日本人特有の精神を身に付け、その上で地域社会に貢献し、さらには世界に向けて発信し、社会で活躍できる人材に育っていくことを期待しています。

本学には、国際観光、社会福祉、健康栄養、薬学を学ぶ 4 つの学科があります。それぞ

れの学科で特色のある教育を行っていますので、本学で何を学べるのか、その学びによって何を得ることができるのかなどを改めて認識していただき、その上で在学中あるいは卒業後の目標を定めていただければと願います。人は明確な目標があれば頑張ることができますが、目標を持たずにただ頑張るというのでは長続きはしません。目標が曖昧で定まらない場合には、遠慮なく教員に相談してください。大学としては、キャリアセンター、キャンパスライフ･ヘルスサポートセンター、国際交流･留学生支援センター、教育基盤センターなどの支援センターを設置していますので、学びや就職などの悩みがあれば積極的に活用してください。そして、設定する目標は身の丈に合ったものにする必要はなく、より高い目標を持っていただいて結構です。高い志を持つことは大歓迎です。その分、努力が必要になり、苦悩を伴うこともあるでしょうが、やり甲斐は大きくなり、達成できた暁にはより強い達成感を味わうことができます。人は成功よりも失敗した経験から学ぶことが多いですので、失敗を恐れずにチャレンジすることは大切ではないでしょうか。さらに、受け身ではなく、探求心を旺盛にして積極的に学ぶ、アクティブ・ラーナーになることも重要です。アクティブ･ラーナーとして学ぶことにより､輝かしい未来の礎を築いて欲しいと願っています。

本学の特色として、多くの学生諸君が部活動に参加していることが挙げられます。幅広く豊かな人間性や社会性を身に付けることも大切ですので、部活やボランティア活動などに積極的に参加し、幅広い視野で社会とも積極的に触れ合って欲しいと思います。もう一つの特色として、多くの留学生が在籍し、国際色が豊かであることも挙げられます。東アジアからの留学生が主ではありますが、欧米からの留学生もいます。また、国際観光学科にはグローバルツーリズムコースがあり、英語による授業だけでなく、欧米への留学を支援する制度もあります。日本の文化を学びながら、グローバルな異文化にも積極的に触れてください。

大学での学びや生活は、社会に羽ばたく前の最後の準備であり、走り高跳びや幅跳びに例えると、跳躍前の助走に例えることができると思います。助走なしには十分に跳ぶことはできません。幼稚園、小学校、中学校、高校と積み上げてきた実力を発揮するために、最後の助走をしっかりと行うのが大学ではないでしょうか。十分な助走を付けて、社会に大きく羽ばたいて欲しいと願っています。

最後になりますが、立派な社会人になるには何が必要なのでしょうか？　簡単にいうと、自ら考え、自ら決断し、自ら行動し、そして自ら責任を持つということではないでしょうか。大学生活では、自分の力で生活をする「自立」に加えて、自らを律する「自律」ができるようになってください。学生諸君にとって大学生活が楽しいものになるよう、そして自律した大人に成長できるよう、長崎国際大学は教職員が一丸となって全力で支援をいたします！

令和６年９月１日

大学概要

◆　建学の精神・大学の基本理念

《九州文化学園建学の精神》

「高い知性と豊かな教養」「優れた徳性と品格」「たくましい意志と健康な身体」の備わった人間の育成。

《長崎国際大学建学の理念》

人間尊重を基本理念に、よりよい人間関係とホスピタリティの探求・実現、並びに文化と健康を大切にする社会の建設に貢献する教育・研究。

《長崎国際大学教育の目標》

1. 専門的知識と技能に加えて、知性、感性、人間性の備わった人材の育成。
2. 地域から愛され、地域社会に貢献できる人材の育成。
3. 異文化を理解し国際社会に貢献できる人材の育成。

《モットー》

いつも、人から。そして、心から。

《大学の目的》

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、学術の中心として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、学校法人九州文化学園の建学の精神に則り、高い知性と豊かな教養、優れた徳性と品格、たくましい意志と健康な身体の備わった人間を育成することを目的とする。

《 学部の目的 》

⑴ 人間社会学部は、学部に設ける国際観光学科及び社会福祉学科の専門分野に関する知識と技能を修得し、知性、感性、人間性を備え、観光産業、スポーツ、国際交流、教育、社会福祉の領域において地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

⑵ 健康管理学部は、学部に設ける健康栄養学科の専門分野に関する知識と技能を修得し、知性、感性、人間性を備え、健康と栄養の維持・管理における栄養学、管理栄養学、栄養教育の領域において地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

⑶ 薬学部は、学部に設ける薬学科の専門分野に関する知識と技能を修得し、知性、感性、人間性を備え、医療薬学、衛生薬学、創薬研究の領域において地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

《 学科の目的 》

⑴ 国際観光学科は、観光及び関連する領域の専門的知識・技能を修得し、観光産業・事業、国際交流、まちづくりの各分野で実践的に活動できる人材を育成する。

⑵ 社会福祉学科は、社会福祉及び関連する領域の専門的知識・技能を修得し、福祉行政・計画、福祉臨床、福祉経営の各分野で実践的に活動できる人材を育成する。

⑶ 健康栄養学科は、健康と栄養に関する領域の専門的知識・技能を修得し、健康と栄養の維持・管理の分野で実践的に活動できる栄養士・管理栄養士を育成する。

⑷ 薬学科は、人間尊重を理念に薬学に関する専門的知識・技能を修得し、医療薬学、衛生薬学、創薬の各分野で研究を遂行できかつ実践的に活動できる薬剤師を育成する。

長崎国際大学シンボルマーク

■　デザインの意味

本学が建学の理念に掲げている「人間尊重」　その“ひと”と長崎国際大学の英文表記の頭文字－N・I・U をシンボライズしたデザインです。

上下に交差する N と U は、世界の文明や文化がクロスする「歴史とポテンシャルを持つ」長崎と、「現在と未来を結ぶ」大学であることをあらわします。

中心にある人の形をした I は、大学の研究や教育、様々な交流がすべて人間社会の豊かな幸福を願って実践されることを意味します。

《 3 つのポリシーおよびアセスメント・ポリシー 》

（入学者受入方針、教育課程編成方針、学位授与の方針および学修成果の評価に関する方針）

※　本学は、明確な「4つの方針」に基づいた教育を行います。

長崎国際大学のポリシー

≪ディプロマ・ポリシー（本学の学位授与の方針）≫

長崎国際大学（以下本学という）は、「人間尊重」を基本理念に、「ホスピタリティの獲得」をその具体像としています。必須単位数等を定めた学士課程カリキュラムを履修することによって、身に付けた深い専門的知識と高い技能、及び社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人物の育成が目的です。また、この基盤には高い人間性が存在します。伝統文化や書物からの学びによって、静かに考え、一歩先を読む態度を育成することが、変化の激しい社会の中にあって、人間性をより豊かにすると考えています。

この実現のために、所定の単位数を修得し、ホスピタリティを構成する次の諸能力を身に付け活用することができる人物に学位を授与します。

⑴　専門力

学士課程カリキュラムに沿って専門的知識・技能を修得し、それらを様々な課題に適用して解決を図ることができる。

⑵　情報収集、分析力

社会に存在する情報を収集し、それを分析して自己の成長や課題解決等に役立てることができる。

⑶　コミュニケーション力

他の人の意見を傾聴するとともに自分の考えを明確にした上で、静かに意見を交換し、相互理解を図ることができる。

⑷　協働・課題解決力

課題を的確に把握し、他の人と協力して課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。

⑸　多様性理解力

自国の文化を深く理解するとともに他国の文化や障がいを持った人たちを広く受け入れ、共生に向けた行動がとれる。

≪カリキュラム・ポリシー（ディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程編成方針）≫

本学は、卒業認定及び学位授与の方針に掲げた知識・技能を始めとした諸能力の獲得を可能にするために、初年次教育、教養教育、及び専門教育の授業科目の順次性を考慮して体系的に配置するとともに、講義や実習等を効果的に組み合わせたカリキュラムを編成します。さらに、その構造を理解しやすくするために、各授業科目が学士課程カリキュラムでどのような位置を占めるかを示し（カリキュラムマップという）、さらに学修段階や履修順序を示す番号を各授業科目に割り振ります（ナンバリングという）。

A. 教育内容

○ 初年次教育

4 年間あるいは 6 年間の学修の基盤となる資質（大学理念の理解、アクティブ・ラーニングの理解、大学での学修習慣の形成、省察の意味やポートフォリオ活用の理解等）の修得を行う場であり、「茶道文化」、「ホスピタリティとSDGs」及び「教養セミナー」という授業科目が核になります。

○ 教養教育

① ここでは、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の基礎を培う授業科目が展開されます。特に、主体的に考え、判断し、表現する能力・態度の修得に必要な内容や方法が組み込まれています。

② ＩＣＴに関する科目においては、時代とともに進化する状況に応じた、情報活用能力の修得を可能にします。

○ 専門教育

① 学科及びコースごとに専門分野の体系と最新の知見を踏まえた適切な内容を講義や実習等に組み込んでいます。ディプロマ・ポリシーで掲げる専門力向上の主な場となります。

② 大学内で獲得した能力・態度を統合して活用するとともに、将来のキャリアと結びつけての省察を可能にする体験実習（ハイ・インパクト・プラクティス）を行います。

B. 教育方法

アクティブ・ラーニングを全授業科目で展開するとともに、その成果を生かす実習を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の形成につなげます。

また、学生一人ひとりに対して担任となる教員を決め、ポートフォリオを活用した面談を行うことによって、それぞれの長所を伸ばし、短所を修正するための適切な学修支援を行います。ポートフォリオは、大学での学びやその成果、担任教員との面談記録等を記録したものであり、各学生の成長の記録と位置付けています。

≪アドミッション・ポリシー（本学が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）≫

本学は理念に掲げる人物を育成するために、本学の教育方針を理解し、それを素直に受け入れて主体的に学修を進めることができる次のような入学者を求めています。以下の①～⑦に追加される各学科のアドミッション・ポリシーは、各学科の該当ページまたは本学公式サイト（https://www1.niu.ac.jp）にてご確認ください。

① 高等学校の履修内容を幅広く獲得している人。
ただし、学科によっては特に深い習得を求められる分野が加わります。

② 高等学校までの知識・技能を活用して、学校内外の課題解決活動に取り組んだ経験がある人。

③ 自分の将来の選択肢と視野を拡げるため、総合的な英語力を伸ばした人。

④ ボランティア活動等を通して、社会的な課題に取り組んだ経験がある人。

⑤ 日本文化や書物等から多くの学びを得た人、あるいはその学びを身に付けたいと考えている人。
⑥ 学びたい学部・学科があり、そこで獲得した能力・態度を社会で生かしたいと考えている人。
⑦ 大学での履修を円滑に進めるために、自己の不足する能力の向上に入学前から取り組むことができる人。

入学者を適正に選抜するために、学習成果を重視する一般選抜による入試に加え、修学で必要な基礎学力、総合的な学習や探究での成果、資格や高等学校内における諸活動等を適正に評価する学校推薦型、総合型選抜入試を実施します。また、キャンパスの多様性向上・実現のため外国人留学生特別入試や多様な経験を持つ社会人及び、帰国子女のための入学者選抜を行います。これら全ての入学者選抜において、高校で培った学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）を多面的・総合的に評価します。

≪アセスメント・ポリシー（学修成果の評価に関する方針）≫

どのような時代にあっても、学位授与の方針で求められる能力・態度が確実に獲得することができる教育を提供するために、自己評価と外部評価を実施し、その結果を公表します。

① 大学レベル
学生及び教職員を対象とした直接的あるいは間接的な調査、及びステークホルダーである企業等を対象とした調査等を集計・分析し、理念の達成度等の評価を行います。修正の必要がある場合は、すぐに改善に取りかかります。

② 学科レベル
所属する学生の単位修得状況、進級状況、休学・退学状況及び学生による授業評価等によって、学科で掲げた目標の達成度を評価し、不足がある場合は改善を加えます。

③ 科目レベル
それぞれの科目で設定した目標を達成しているかどうかについては、「成績評価」、「成績分布データ」、「授業アンケート」等を組み合わせ、分析･評価します。また、授業を重ねる中で、受講者からの意見を聴取し授業改善等につなげます。

④ 学生レベル
理念に掲げる能力・態度の獲得については、学期毎にそれぞれのルーブリックをもとに学生が行った省察と自己評価を、担任の教員が点検評価し、改善に向けた適切な助言を行います。この 4 年間あるいは 6 年間のポートフォリオを踏まえて、学生はディプロマ・ポリシーで求められている能力の獲得状況等を、卒業ポートフォリオに記載します。
学位授与にあたっては、一定水準以上の卒業論文であることや、ディプロマ・ポリシーで求めている各能力が獲得されていることが問われますが、ともに外部の専門家あるいはステークホルダーが参加した委員会等で、その評価を行います。

長崎国際大学　人間社会学部 国際観光学科のポリシー

≪ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）≫

国際観光学科（以下本学科という）では、全学のディプロマ・ポリシーに基づき、観光及び関連する領域の専門的知識･技能を修得し、観光産業･事業、国際交流、スポーツによる地域貢献、まちづくりの各分野で実践的に活動できる人材を育成します。観光及び関連する領域では、特に「人間尊重」を基本理念とした「ホスピタリティの獲得」が重要です。よって、本学科が求める所定の単位数を修得し、ホスピタリティを構成する次の諸資質・能力を身に付け活用することが

できる人物に学位を授与します。

(1) 専門力

学位プログラムの基本となる専門的知識・技能を修得し、それらを観光及び地域社会の様々な課題に適用して解決することができる。

(2) 情報収集、分析力

社会に存在する情報を収集し、それを分析して自己の成長や観光及び地域社会の課題解決などに役立てることができる。

(3) コミュニケーション力

グローバルな視点で、意見を傾聴するとともに、自分の考えを明確にした上で、意見を交換し、相互理解を図ることができる。

(4) 協働・課題解決力

観光及び地域社会の課題を的確に把握し、他の人と協力して課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。

(5) 多様性理解力

自国の文化を深く理解するとともに他国の文化を尊重し、障がいの有無などによらず、共生に向けた行動がとれる。

≪カリキュラム・ポリシー（本学科のディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程編成方針）≫

本学科では、全学のカリキュラム・ポリシーをもとに、以下の観点からカリキュラムを編成します。

A. 教育内容

初年次教育や教養教育に関しては全学のディプロマ・ポリシーに従って展開し、専門教育に関しては、次の方針で臨みます。

○ 専門教育

① 高年次のハイ・インパクト・プラクティス（教育効果の高い学外での体験実習）の基盤となる経験や学びをカリキュラムに組み込み、ホスピタリティを構成する様々な資質・能力や次世代の教育に携わる人材となるための知識・技能を段階的に身に付けることができるようなカリキュラムを編成します。

② 全学共通科目及び学部共通科目を通して、社会人として必要な幅広い教養やホスピタリティ精神の習得を図ります。

③ 学科共通科目では、観光学の根幹を学ぶための科目を配置し、観光学の基礎的知識を理解し、多文化が共生する現代社会の諸問題を解決するための資質・能力の伸長を図ります。

④ 3つの専門コースから選択したコース科目を中心に学ぶことにより、専門的な知識・技能と分析能力の向上を図ります。

⑤ ハイ・インパクト・プラクティスとして設定した「国内観光研修」「海外観光研修」「海外留学」「インターンシップ」「長期インターンシップ」「地域連携活動」等の学外での学びを通して、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付けるとともに、現場で学んだことを活かし成長することを可能にします。

⑥ 少人数の専門演習、及び卒業研究では、特定のテーマに関する調査・研究によって知識を深め、その学修成果を発表することにより表現力を身に付けるとともに、様々な問題解決のための思考力・判断力の向上を図ります。

B. 教育方法

アクティブ・ラーニングを全授業科目で展開するとともに、その成果を生かす研修や実習を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の形成につなげます。

また、学生一人ひとりに対して担任となる教員を決め、全学のディプロマ・ポリシーに沿った教育を行い、それぞれの長所を伸ばし、短所を修正するための適切な学修支援を行います。

≪アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）≫

本学科では、本学の理念に掲げる人物を育成するために、本学の教育方針を理解し、それを受け入れ、主体的に学修を進めることができる次のような入学者を求めています。

そのために本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法（学力検査、外部の英語資格・検定試験、調査書、多面的・総合的な評価のための自己申告書、面接、グループ面接、小論文）を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

① 高等学校の履修内容を幅広く獲得している人。
② 自分の将来の選択肢と視野を拡げるため、総合的な英語力を伸ばし入学後も高めたい人。
③ 高等学校までの知識・技能を活用して、学内外の課題解決に取り組んだ経験がある人。
④ スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動等を通して学校内外での社会的な課題に取り組んだ経験がある人。
⑤ 日本文化や書物等から多くの学びを得た人、あるいはその学びを身に付けたいと考えている人。
⑥ 国際観光学科の学びである観光産業・事業、国際交流、スポーツによる地域貢献、まちづくり等に関心があり、そこで獲得した能力・態度を社会で生かしたいという強い希望を持っている人。
⑦ 大学での履修を円滑に進めるために、自己の不足する能力の向上に、入学前から取り組むことができる人。

長崎国際大学　人間社会学部 社会福祉学科のポリシー

≪ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）≫

社会福祉学科（以下本学科という）は、大学ディプロマ・ポリシーを基本精神として踏まえた上で、必須単位数等を定めた本学科の学士課程カリキュラムを履修することによって、身に付けた深い専門的知識と高い技能、及び社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人物を育成します。

また、自らの専門を軸に生涯にわたって学び、人間性を豊かにする以下の諸資質・能力を身に付け、活用することができる人物に学位を授与します。

(1) 専門力

学士課程カリキュラムに沿って専門的知識・技能を修得し、それらを国際社会、及び社会生活における様々な課題に適用して解決を図ることができる。

(2) 情報収集、分析力

社会の課題を情報収集し、分析するための専門的資質・能力を身に付け、そのことを自己及び社会の成長に役立てることができる。

(3) コミュニケーション力

ホスピタリティの精神に基づいて、多様な立場の人々と相互理解を図ることができる。

(4) 協働・課題解決力

周りの人々を巻き込んで、協力して課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。

(5) 多様性理解力

世代間や障がい等による人間の多様性について理解し､真の共生社会を実現するための活動ができる。

≪カリキュラム･ポリシー(本学科のディプロマ･ポリシーを達成するための教育課程編成方針)≫

本学科では、大学カリキュラム・ポリシーを基本精神として踏まえた上で、初年次教育（１年生）、教養教育、及び専門教育の授業科目を、難易度順に積み重ね、体系的にしっかりと学修できるように科目を学年配置します。そして、講義や実習を効果的に組み合わせることにより、真に学問を体得できるカリキュラム編成を行います。

A. 教育内容

○ 初年次教育

教養セミナー（ゼミ）を軸に、４年間の学修の基盤となる大学理念、学修態度の基盤形成、ホスピタリティに関する知識とその精神を身に付けられるカリキュラムを編成しています。

○ 教養教育

生涯にわたって自ら学び続ける基礎的教養を身に付けます。

○ 専門教育

① 専門教育のカリキュラムは、学生が個々の学問的関心と探究心を抱くように編成されています。特に、専門演習、卒業研究は少人数のゼミナールという形でより深く探究できる形式となっており、これらを通してポートフォリオの作成や省察を行うことが出来ます。

② 学科共通科目では、社会福祉の知識・技術を理解し実践できるための科目を段階的に学び、専門的な観点から人間と社会を理解する視点を身に付けます。

③ コース科目と学科自由選択科目の学びを通じて、人をかけがえのない存在として捉え、生活課題を抱える人々を支援し、国際社会、及び地域社会の課題に対応する資質・能力を身に付け、様々な問題解決のための思考力･判断力の向上を図ります。

④ 専門家としての知識・技能・表現力・適切な態度を身に付けるために、学修過程の成果物を蓄積し、ルーブリックによる評価を行いながらポートフォリオを形成します。

⑤ **社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格をはじめ、スクールソーシャルワーカー、教育職員免許状、福祉心理士、初級パラスポーツ指導員、生きがい情報士の資格が取得できるカリキュラムを編成しています。なお、社会福祉主事任用資格は卒業と同時に全員が取得できます。**

B. 教育方法

全学のディプロマ・ポリシーに沿った、アクティブ・ラーニング（本学科では、学修者が主体的・能動的・協働的に学べる学修法とする）を授業科目で展開するとともに、その成果を活かす演習や実習科目を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた資質・能力の形成につなげます。

また、学生一人ひとりに対して担任となる教員を決め、ポートフォリオを活用した面談を行うことによって、それぞれの長所を伸ばし、短所を修正するための適切な学修支援を行います。ポートフォリオは、大学での学びやその成果、担任教員との面談記録等からの学びを記録したものであり、各学生の成長の記録と位置付けています。

≪アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）≫

本学科では、大学アドミッション・ポリシーを基本精神として踏まえた上で、本学科のディプロマ・ポリシーに掲げる人物を育成するために、教育方針を理解し、主体的に学修を進めることができる入学者を求めています。

そのために本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法（学力検査、外部の英語資格・検定試験、調査書、多面的・総合的な評価のための自己申告書、面接、グループ面接、小論文）を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

①　高等学校の履修内容を幅広く獲得している人。

②　学級活動、部活動、ボランティア活動、スポーツ活動などを通じて、周囲の大人や友人と協力して課題に取り組んだ経験のある人。

③　本学科で開講する社会福祉やその関連領域において、自分の専門基盤を作る学修がしたい人。

④　福祉関連機関、民間企業や公務員を目指すなど、しっかりと将来設計を考えている人。

⑤　国際社会、及び地域社会の活性化に向けて、将来、活躍したい人。

⑥　大学での履修を円滑に進めるために、自己の不足する資質・能力の向上に、入学前から取り組むことができる人。

長崎国際大学 健康管理学部 健康栄養学科のポリシー

≪ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）≫

健康栄養学科（以下本学科という）では、全学のディプロマ・ポリシーに基づき、食と健康に関連する領域の専門的知識・技能を修得し、「健康管理」および「栄養の指導」ができ実践的に活動できる人材を育成します。栄養・食生活を通して人々の健康と幸福に寄与する管理栄養士として、専門的知識・技能を身につけるだけでなく、人間尊重を基本理念としたホスピタリティを獲得し、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力に長けることが大切です。よって、本学科が求める所定の単位数を修得し、栄養士・管理栄養士として必要な基礎と専門的知識・技能のみならず、ホスピタリティを構成する次の諸能力を身につけ活用することができる人物に学位を授与します。

(1) 専門力

学位プログラムの基本となる専門的知識・技能を修得し、それらを健康・栄養・食生活に関する様々な課題に適用して解決することができる。

(2) 情報収集、分析力

社会に存在する情報を収集・分析し、地域の健康・栄養・食生活に関する課題の抽出を行い、それらの解決などに役立てることができる。

(3) コミュニケーション力

管理栄養士としての専門的な視点を持ち、様々な意見を傾聴することができるとともに、自分の考えを明確にした上で意見交換し、相互理解を図ることができる。

(4) 協働・課題解決力

健康・栄養・食生活に関する課題を的確に把握し、管理栄養士としての専門的な視点を持ち、他の人と協力して解決に向けた方策を立案して解決することができる。

(5) 多様性理解力

自国および多様な地域に暮らす人々の文化やあらゆるライフステージ、また様々な疾患や

障がいを有する人など多種多様な人の状況を深く理解するとともに、他国や他地域の文化や多様な人を広く受け入れ、共生に向けた行動ができる。

≪カリキュラム･ポリシー（本学科のディプロマ･ポリシーを達成するための教育課程編成方針）≫

本学科では、全学のカリキュラム・ポリシーを基に、以下の視点からカリキュラムを編成します。

A．教育内容

初年次教育や教養教育に関しては、全学のディプロマ・ポリシーに従い、全学共通科目を通して、栄養士・管理栄養士として幅広い教養やホスピタリティの精神の基盤を身につけます。さらに専門教育に関しては、次の方針で臨みます。

○ 専門教育

① 栄養学に深く関連する化学および生物学の基礎科目を設定し、講義や実習を通して、高等学校で身につけた基礎を活かしながら、専門基礎科目を学ぶための土台を築きます。

② 栄養学の専門基礎科目群として社会・環境と健康、人体の構造と機能および疾病の成り立ち、食べ物と健康の分野の科目を設定し、講義や実習を通して専門的知識・技能の基礎を身につけます。

③ 栄養学の専門基幹科目群として基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論の分野の科目を設定し、講義や実習を通して専門的知識・技能を身につけます。

④ 専門的知識・技能をもとに、総合演習Ⅰを経て３年次以降のハイ・インパクト・プラクティス（教育効果の高い学外での体験実習：臨地実習）で専門的知識・技能の統合を図り、社会性や協調性を育むとともに実践的知識と技術を身につけます。

⑤ 総合演習Ⅱと管理栄養士演習、栄養学専門演習を通して、栄養学の知識を再確認します。さらに卒業研究において、特定のテーマに関する実験・調査研究によって調査や分析方法の技能を修得し、知識を深め、それらを発表することにより表現力を養います。これにより様々な問題解決のための論理的思考力・判断力を総合的に身につけます。

B．教育方法

アクティブラーニングを全授業科目で展開するとともに、その成果を生かす演習や実習を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の形成につなげます。

≪アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）≫

本学科では、本学の理念に掲げる人物を育成するために、本学の教育方針を理解し、それを素直に受け入れて主体的に学修を進めることができる次のような入学者を求めます。

そのために本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法（学力検査、外部の英語資格・検定試験、調査書、多面的・総合的な評価のための自己申告書、面接、グループ面接、小論文）を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

① 高等学校の履修内容を幅広く理解し、大学で更に深めるべき知識の修得に必要な基礎を身につけている人。

② 高等学校までの知識・技能を活用して課題解決を行った経験がある人。

③ ボランティア活動等を通して学校内外で社会的な課題に取り組んだ経験のある人。

④ 自己の不足する能力向上のために、入学前から粘り強く取り組むことができ、失敗に屈せず、

自分を成長させようとする人。

⑤ 食や健康に関する出来事やそれらに関わる専門職に興味があり、大学で得た能力・態度を社会で生かし管理栄養士として活動したいという強い希望を持っている人。

長崎国際大学 薬学部 薬学科のポリシー

≪ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）≫

薬学部薬学科（以下本学科という）では、本学建学の基本理念「人間尊重」を理解し、薬学に関する専門的知識・技能を備え、医療薬学、衛生薬学、創薬の各分野で研究を遂行できかつ実践的に活躍できる医療人（薬剤師）を養成するため、学生の「ホスピタリティ」獲得を目的とした教育を実践します。

よって、本学科が求める所定の単位数を修得し、薬の専門家として次のホスピタリティを構成する５つの能力を有すると認められる学生に、「学士（薬学）」の学位を授与します。

⑴ 専門力
- 高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識を備えている。
- 医療の進歩に関心を払い、生涯にわたり学び続けることができる。

⑵ 情報収集、分析力
- 高度化・複雑化する医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる。

⑶ コミュニケーション力
- 多様な患者やチーム医療を担う他の医療従事者と相互理解を図ることができる。

⑷ 協働・課題解決力
- 基礎的な科学力・研究能力を備えている。
- チーム医療に参画し、責任を持って安全で適切な薬物療法を提案し、実践できる。
- 後進の指導に当たる意欲と教育能力を備えている。

⑸ 多様性理解力
- 患者・生活者本位の視点、倫理観及び責任感を持って地域医療・保健・環境衛生に参画することができる。

≪カリキュラム･ポリシー（本学科のディプロマ･ポリシーを達成するための教育課程編成方針）≫

本学科では、全学共通科目・薬学専門科目に加え、本学建学の理念である「人間尊重」を重視した独自の科目を加えた体系的なカリキュラム（学位プログラム）を通じて、ディプロマ・ポリシーに示す素養および能力を有する学生の育成を実施します。

A. 教育内容

初年次教育や教養教育に関しては、全学のディプロマ・ポリシーに従って展開します。

また、全授業科目を通して、社会人・医療人・薬剤師として必要な基本的教養、および「人間尊重」に基づく豊かな人間性を身につけます。

○ 専門科目

① 早期体験学習・臨床体験学習・ヒューマニズム教育等を通して、社会が求める医療人としての責任感・倫理観、医療人として生涯学び続ける心構えを修得します。

② 薬学教育専門科目を、順次性を持って学修することで、薬剤師に必要な知識と技能を効率よく修得します。

③ 薬学実務実習を通して、幅広い薬剤師業務に必要な知識、技能、態度を修得します。
④ 他学部と連携した高齢者医療・在宅介護に重点をおいた科目を通して、予防医学や地域医療に貢献できる薬剤師としての実践力を修得します。
⑤ 薬学の専門知識と技能の融合を目的とした総合演習科目を通して、薬剤師としての実践力を修得します。
⑥ 卒業研究を通して、深い専門性、研究する心と態度、問題発見・解決の能力、さらに後進の指導にあたる能力を修得します。

B. 教育方法

① 入学から卒業まで、担任教員が中心となって一貫した個別指導を実施します。
② 初年次教育では基礎科目において少人数クラス授業を導入、多様な入学者が主体的な学びを実践できるように配慮します。
③ 講義・実習・演習など様々な教育方法を用いて、ディプロマ・ポリシーに示す素養および能力（専門力、情報収集・分析力、コミュニケーション力、協働・課題解決力、多様性理解力）の育成を図ります。また、外部評価者が参加する科目では、客観的な視点を取り入れた教育・評価を実施します。
④ アクティブ・ラーニングを全授業科目に導入することで、能動的学習態度を醸成します。

≪アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）≫

本学科は、本学の基本理念である「人間尊重」を理解する医療人（薬剤師）を育成するために、本学の教育方針を理解し、将来医療に従事する者として非喫煙を含め自らの健康に留意するとともに、主体的に学修を進めることができる学生を求めています。

また、入学後の学修において、化学系薬学、生物系薬学、物理系薬学の 3 つが基礎的な分野となることから、「化学」、「生物」、「物理」の基礎をしっかり学習しておくことが重要です。したがって、大学での履修を円滑にするために、学力の維持または向上に入学前から取り組む必要が有ります。

そのために本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法（学力検査、外部の英語資格・検定試験、調査書、多面的・総合的な評価のための自己申告書、面接、グループ面接、小論文）を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

① 高等学校の履修内容を幅広く、積極的に学習している人。
② 他者への思いやりを持ち、ボランティア活動や課外活動等を通して社会に奉仕することができる人。
③ 社会においては、まわりの意見に耳を傾け、協調して行動できる人。
④ 進歩著しい医療の世界で必要な絶えず学び続ける強い意志と向上心を持っている人。
⑤ 地域医療に貢献することに関心や意欲を持っている人。
⑥ 大学で獲得した知識や能力を医療の発展に活かしたいと考えている人。

学校法人
九州文化学園グループ

◆ 学校法人九州文化学園グループ

- ■ 長崎国際大学
- ■ 長崎短期大学
- ■ 九州文化学園高等学校
- ■ 九州文化学園高等学校衛生看護専攻科
- ■ 九州文化学園中学校
- ■ 九州文化学園小学校
- ■ 認定こども園九州文化学園幼稚園
- ■ 九州文化学園歯科衛生士学院
- ■ 九州文化学園調理師専門学校

- ❖ 社会福祉法人 和敬会 三川内保育園
- ❖ 社会福祉法人 世知原福祉会
  養護老人ホームグリーンホーム
  特別養護老人ホームパールホーム
- ❖ 一般社団法人 是真会
  長崎リハビリテーション病院
- ❖ ザ・グローバルズ株式会社
- ❖ 南風崎 MG レヂデンス株式会社

◆ 沿革

◇ 学校法人の沿革

昭和 20 年12月　九州文化学院創立
昭和 22 年　2月　財団法人九州文化学院設置認可
昭和 26 年　2月　学校法人九州文化学園へ組織変更認可
平成　7 年11月　学校法人九州文化学園創立 50 周年記念式典
平成 18 年　3月　学校法人九州文化学園創立 60 周年記念式典
平成 27 年11月　学校法人九州文化学園創立 70 周年記念式典

■ 長崎短期大学

《沿革》

昭和 41 年 4 月　九州文化学園短期大学設置
昭和 47 年 4 月　九州文化学園短期大学幼児教育学科設置
昭和 60 年 4 月　九州文化学園短期大学を長崎短期大学に名称変更
平成 元 年 4 月　長崎短期大学英語科設置、専攻科福祉専攻設置
平成　7 年 4 月　長崎短期大学専攻科英語専攻設置
平成　8 年 4 月　長崎短期大学専攻科食物栄養専攻設置
平成 12 年 4 月　長崎短期大学幼児教育学科を保育学科に名称変更
平成 14 年 4 月　食物科調理師・製菓衛生師養成課程へ変更
全学科男女共学に変更
平成 20 年 4 月　専攻科保育専攻開設
平成 22 年 4 月　保育学科介護福祉専攻開設
平成 25 年 4 月　長崎短期大学英語科を国際コミュニケーション学科に名称変更
平成 29 年 2 月　創立 50 周年記念式典
令和　2 年 4 月　食物科、保育学科介護福祉専攻、国際コミュニケーション学科を「地域共生学科」へ改組

■　九州文化学園高等学校

《沿革》

昭和 20 年 11 月　九州文化学院設立申請
昭和 22 年　2 月　九州女子専門学校昇格認可
昭和 23 年　4 月　九州女子専門学校付属中学校設置
昭和 25 年　2 月　九州女子専門学校を佐世保専門学校に改名
昭和 26 年　2 月　財団法人九州文化学園を学校法人九州文化学園へ組織変更
　　　　　　4 月　九州文化学園高等学校設置（普通科）
昭和 42 年　4 月　九州文化学園高等学校食物科設置
昭和 45 年　4 月　九州文化学園高等学校衛生看護科設置
昭和 50 年 10 月　九州文化学園高等学校保育科設置
平成　8 年　4 月　九州文化学園高等学校衛生看護専攻科設置
平成 12 年　4 月　保育科を保育福祉科に名称変更
平成 18 年　4 月　佐世保市椎木町(長崎短期大学隣接地)に移転
　　　　　　　　　男女共学（普通科ビジネスコースを除く）に変更
　　　　　　　　　食物科を食物調理科に名称変更
平成 24 年　4 月　全学科男女共学に変更

■　九州文化学園中学校・九州文化学園小学校

《沿革》

平成 31 年　4 月　九州文化学園中学校・九州文化学園小学校設置

■　認定こども園 九州文化学園幼稚園

《沿革》

昭和 29 年　4 月　九州文化学園幼稚園設置
平成 18 年　4 月　佐世保市上町に移転
平成 27 年　4 月　認定こども園 九州文化学園幼稚園に変更

■　九州文化学園 調理師専門学校

《沿革》

昭和 46 年　4 月　九州文化学園調理師専修学校設置
平成 18 年　4 月　佐世保市藤原町に移転
平成 28 年　4 月　九州文化学園調理師専門学校に名称変更（専門課程）
　　　　　　　　　修業年限1年制から2年制へ移行

■　九州文化学園 歯科衛生士学院

《沿革》

昭和56年　4月　九州文化学園歯科衛生士学院設置

平成18年　4月　佐世保市藤原町に移転

修業年限2年制から3年制に移行

令和 5 年　4月　全学男女共学に変更

❖　社会福祉法人 世知原福祉会（グリーンホーム・パールホーム）

《沿革》

昭和48年　2月　社会福祉法人 世知原福祉会設立

4月　養護老人ホーム（グリーンホーム）事業開始

昭和51年　4月　特別養護老人ホーム（パールホーム）事業開始

平成 8年　1月　世知原町在宅介護支援センター事業開始

❖　社会福祉法人 和敬会

《沿革》

昭和40年　5月　佐世保三川内保育所設置

平成14年　4月　三川内保育所委託事業所の決定により、社会福祉法人和敬会設立受託運営を開始

平成19年　8月　三川内保育園認可

❖　一般社団法人　是真会　長崎リハビリテーション病院

平成20年　2月　1日　開院

リハビリテーション科、脳神経外科

入院(病床数等)143床（全て回復期リハビリテーション病床)

❖　南風崎MGレヂデンス株式会社（長崎日本語学院を含む）

《沿革》

平成21年10月「南風崎MGレヂデンス」へ改称

令和 3年　3月　九州文化学園グループとして事業開始

◇ 大学の沿革

平成 11 年 12 月 22 日　長崎国際大学設置認可
（人間社会学部／国際観光学科、社会福祉学科）
平成 12 年　4 月　1 日　長崎国際大学開学
人間社会学部国際観光学科、社会福祉学科開設
平成 12 年　4 月　6 日　長崎国際大学　第 1 回入学式
平成 13 年 12 月 20 日　健康管理学部健康栄養学科設置認可
平成 14 年　4 月　1 日　健康管理学部健康栄養学科開設
平成 15 年 11 月 27 日　大学院人間社会学研究科（修士課程）設置認可
平成 16 年　4 月　1 日　大学院人間社会学研究科（修士課程）開設
平成 17 年 12 月　5 日　薬学部薬学科設置認可
平成 17 年 12 月　5 日　大学院健康管理学研究科（修士課程）設置認可
平成 18 年　1 月 28 日　大学院人間社会学研究科（博士後期課程）設置認可
平成 18 年　4 月　1 日　薬学部薬学科開設
大学院健康管理学研究科（修士課程）開設
大学院人間社会学研究科（博士後期課程）開設
平成 22 年 11 月 27 日　創立 10 周年記念式典
平成 25 年 10 月 31 日　大学院薬学研究科（博士課程）設置認可
平成 26 年　4 月　1 日　大学院薬学研究科（博士課程）開設

◆ 大学の現況（令和 6 年 5 月 1 日現在）

- ♦ 大学名　長崎国際大学
- ♦ 所在地　長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7
- ♦ 学部構成　3 学部 4 学科　3 研究科 5 専攻

人間社会学部	国際観光学科、社会福祉学科
健康管理学部	健康栄養学科
薬学部	薬学科
人間社会学研究科	観光学専攻（修士課程）、社会福祉学専攻（修士課程） 地域マネジメント専攻（博士後期課程）
健康管理学研究科	健康栄養学専攻（修士課程）
薬学研究科	医療薬学専攻（博士課程）

- ♦ 学生数

人間社会学部 1,112 人、健康管理学部 214 人、薬学部 641 人
人間社会学研究科 39 人（修士課程：31 人、博士後期課程：8 人）
健康管理学研究科 2 人、薬学研究科 6 人

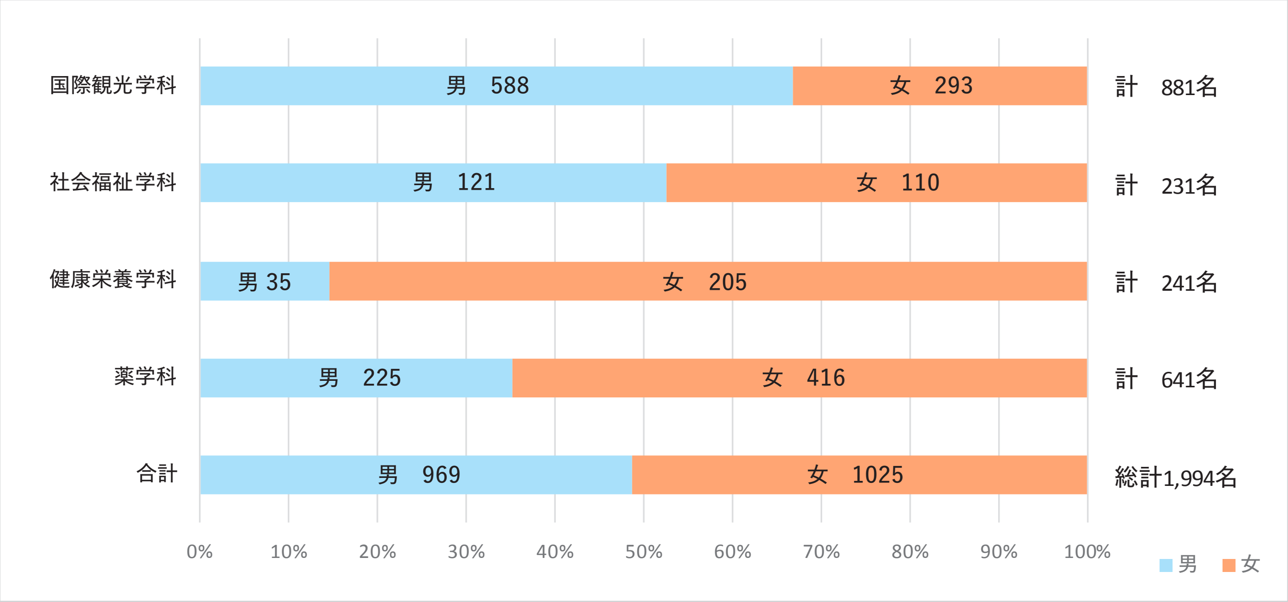
- ♦ 教員数　専任教員数 111 人、助手 9 人
- ♦ 職員数　75 人（契約職員、パート職員含む）

◆ 在学生の状況

出身県別学生数（大学院生含） 令和６年５月１日現在〔人〕

九州・沖縄		その他の県					
長崎	927	高知	1	兵庫	4	東京	4
佐賀	174	愛媛	3	大阪	3	千葉	1
福岡	197	香川	1	滋賀	2	埼玉	2
熊本	113	山口	9	愛知	2	群馬	1
大分	60	広島	15	静岡	1	青森	1
宮崎	57	岡山	1	富山	1		
鹿児島	119	島根	3	石川	1		
沖縄	108	鳥取	1	神奈川	1		

◆学科別在学生男女比(令和６年５月１日現在)



国籍別留学生数(令和６年５月１日現在)

留学生数　236 人（学部：212 人、大学院：23 人）

◆留学生の国・地域別在籍数（学部）

国・地域	在籍数
中国（香港含）	73
韓国	47
ベトナム	4
台湾	3
ミャンマー	9
スリランカ	30
ネパール	44
ウクライナ	2

◆大学院

国・地域	在籍数
中国	21
台湾	1
スリランカ	1

情報公開
地域連携

1．公開している情報について

本学ではWeb上の公式サイトにおいて、多様な文書を公開しています。
（https://www1.niu.ac.jp　：トップページ上部の【情報公開】より閲覧可能）

公式サイトに掲載している情報一覧	
学校法人 九州文化学園の 情報公開へのリンク （kyubun. ed. jp）	学校法人九州文化学園「情報公開」 《財務諸表》 財産目録、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書 貸借対照表、監査報告書（写）、事業活動収支構成、事業活動収支の経年推移 《寄附行為》 《役員の状況》 理事・監事、評議員、役員の報酬等の支給の基準 《中期計画》 令和３年度～令和７年度（５ヶ年） 《事業計画書》 《事業報告書》 《学生数・教職員数》 《その他計画・指針等》 次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画 労働施策総合推進法に基づく中途採用比率の公表 校舎等の耐震化率について 学校法人九州文化学園教育・学習データ利活用ポリシー
財務状況について	長崎国際大学 財務情報について分かりやすく加工した資料
学則	長崎国際大学　学則及び別表 長崎国際大学大学院　学則
障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律への対応	長崎国際大学における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領 長崎国際大学における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領における留意事項 障がいを理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応概要図 苦情申立てに対する体制及び手順
教育情報の公表	「教育研究上の基礎的な情報」についての公表資料 「修学上の情報等」についての公表資料 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画 教育研究活動の状況を多面的に把握しうる情報 地元地域及びその他の地域からの学生の受入状況（出身高校の都道府県別在籍学生数）
動物実験に関する情報	長崎国際大学　動物実験施設並びに実験動物使用実績
設置に関する情報	薬学部薬学科　設置計画の概要 薬学部薬学科　設置に係る設置計画履行状況報告書の概要 薬学研究科医療薬学専攻　設置計画の概要 薬学研究科医療薬学専攻　設置に係る設置計画履行状況報告書の概要 収容定員に係る学則変更
養成課程に関する情報	人間社会学部社会福祉学科　介護クラスについて
職業実践力育成プログラム（BP）に関する情報	【履修証明プログラム】地域の福祉リーダー育成講座 【履修証明プログラム】地域おこしに貢献する観光まちづくりリーダーの育成 職業実践力育成プログラム（BP）の自己点検・評価

大学機関別 認証評価について	令和 1(2019)年度大学機関別認証評価について 平成 26 年度大学機関別認証評価について 平成 21 年度大学機関別認証評価について 平成 19 年度大学機関別認証評価について
自己点検・評価について	自己点検・評価報告書 自己評価 21（薬学部・薬学科） 《平成 26 年度　薬学研究科》 大学院４年制博士課程における平成 26 年度自己点検・評価 《平成 31 年度　薬学研究科》 大学院薬学研究科自己点検・評価結果 長崎国際大学大学院薬学研究科シラバス
薬学教育第三者評価について	平成 29 年度　薬学教育第三者評価について
教職課程における 自己点検・評価について	令和４年度教職課程自己点検評価報告書
教学 IR 情報の公表	1. 学生の修学時間と修学実態 2. 授業評価結果 3. 学修成果　単位修得状況 4. 学位授与数 5. 資格取得実績　資格試験合格者数や合格率 6. 就職等進路に関わる実績　就職率、大学院進学率等 7. 受け入れ及び派遣留学の状況 8. 卒業生アンケート調査結果 9. 教員個人による諸活動についての報告書（ティーチング・ポートフォリオ） 10. 相互評価
学術情報等の公開について	オープンアクセス方針
産学連携の取組状況の公表について	産学連携の取組状況（共同、委託研究） 長崎国際大学 研究シーズ集
課外活動制限レベルについて	新興ウイルス感染症等における課外活動レベルについて
外部資金の獲得実績	1. 公募、審査、採択の過程を経て獲得する競争的研究資金等 2. 受託事業や共同研究に伴う研究経費等 3. 民間企業等や同窓会等、個人より得た寄付金等
研究活動の不正防止	研究費の適正な管理と運営、不正行為の防止に関する規程類
大学等における修学の支援（高等教育無償化）に関する機関要件確認のための情報公開 （法人及び大学公式サイトの既存コンテンツへのリンクを含む。）	1. 確認申請書 2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表 3. 理事（役員）名簿 4. シラバス 5. 客観的な指標の算出方法 6.　卒業の認定に関する方針 7. 財務諸表 8. 事業計画 9. 自己点検・評価の結果 10. 認証評価の結果 11. 教育研究上の目的 12. 卒業の認定に関する方針 13.　教育課程の編成及び実施に関する方針 14.　入学者の受入れに関する方針 15.　教育研究上の基本組織に関すること 16.　各教員の有する学位及び業績 17.　ＧＰＡの活用状況 18.　学生の学修状況に係る参考情報 19.　校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること 20.　教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

2. 財務状況について

1) 学校法人会計について

学校法人は、その目的である教育研究活動を行うにあたって必要な施設設備、また経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から補助金(以下「私学助成」)の交付を受けています。私学助成を受けるすべての学校法人は、私立学校振興助成法の定める「学校法人会計基準」により、一定の会計ルールに則った会計処理と計算書を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

(1) 計算書類について

学校法人会計基準では、以下の計算書類を作成することが定められております。

①資金収支計算書　　　　　当該年度の資金の流れを示す計算書です。
②事業活動収支計算書　　　当該年度の収支の内容、均衡の状態を示します。
③貸借対照表　　　　　　　資産や負債の状況を示します。

各計算書類の役割は次のとおりです。参考として企業会計で作成する財務諸表を併記します。

	学校法人会計	企業会計
計算書類と役割	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	当該年度の支払資金のてん末を表示し、資金の流れの把握を行う。	当該年度の資金の源泉と用途を表し、資金の流れの把握を行う
	事業活動収支計算書	損益計算書
	当該年度の収支均衡の状態を表し、収支と採算性の把握を行う	当該年度の損益の状態を表し、損益と採算性の把握を行う
	貸借対照表	貸借対照表
	会計年度末時点の資産、負債、基本金等の内容と金額を表し財務状況の状態把握を行う	会計年度末時点の資産、負債、基本金等の内容と金額を表し財務状況の状態把握を行う

企業会計は、その年度の収益と費用を正しく捉え、事業状況を明確にし、収益力をより高めることを主たる目的としています。 一方、学校法人は、公共性の高い教育研究活動を遂行することを事業目的とし、その活動の継続性と健全性が求められることから、学校法人会計では中長期的に収支のバランスと財政状態を正しく捉えることを目的としています。

(2)学校法人会計基準に基づき作成する計算書類

①資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度におけるすべての収入および支出の内容と、支払資金(現預金)の収入および支出のてん末を明らかにすることを目的としています。この計算書の特徴として資金収支調整勘定があります。通常の収支計算は、支払資金の収入と支出のみを対象としていますが、学校法人会計の資金収支計算書においては、当該年度の活動に属すべき前年度以前の収入・支出や、翌年度以降の収入・支出とされるものについて調整勘定を用い、支払資金のてん末を明らかにします。

②事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度における「事業活動収入」および「事業活動支出」の内容を明らかにして経営状態を測定するとともに、収支均衡の状況を示すものです。学校法人

の活動を ①教育活動収支 ②教育外活動収支 ③それ以外の活動（特別収支）に分けて、それぞれの収支差額を計算しています。その合計を「基本金組入前当年度収支差額」として明記し、そこから基本金組入額を控除したものが当年度収支差額となります。収支の均衡の状態は「当年度収支差額」で判断します。

③貸借対照表

貸借対照表は企業会計における貸借対象表と基本的に同じ機能を持っており、当該会計年度末時点における財政状況を表すものです。企業が、株主からの資本金で成り立っているのに比べ、学校法人は自らが資本的な裏付けを積み上げていく必要があります。そのため、純資産の部には「事業活動収支計算書」で記載される基本金を積み上げていくこととなります。

基本金は、学校法人が教育研究活動を行う上で必要な資産の額で、建物や機器備品等の固定資産や基金として積み立てた資金等の額を示しています。第 1 号基本金から第 4 基本金があります。

第 1 号基本金：設立当初や設立後の新たな学校の設置・規模拡大、教育の充実向上のために取得した固定資産の価額。

第 2 号基本金：将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額。

第 3 号基本金：奨学基金等の基金として保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。

第 4 号基本金：恒常的に保持すべき資金。

2） 勘定科目について

各収支表における勘定科目について、下表にて説明いたします。

資金収支・事業活動収支計算書に共通の勘定科目	
学生生徒等納付金収入	教育活動の対価として、在学または入学を条件に所定の額を納付いただくものです。
手数料収入	その会計年度に実施する入学試験や、在学証明書等の証明書を発行する際の手数料等による収入です。
寄付金収入	用途指定のある「特別寄付金収入」と、用途指定のない「一般寄付金」収入とがあります。
補助金収入	国、または地方公共団体から交付される補助金収入です
資産運用収入	受取利息や配当金、施設設備の利用料等です。
事業収入	外部から研究委託を受ける受託事業収入や学内で催す公開講座などの受講料、学生寮の寮費等です。
雑収入	帰属する上記各収入以外の収入を指します。
人件費支出	教職員に支給する本俸や期末手当、またはその他の手当や所定福利費等に要する支出をいいます。
教育研究経費支出	教育・研究のために要する支出をいいます。
管理経費支出	総務・人事・会計業務や学生募集活動、補助活動など、教育・研究活動以外に要する支出をいいます。
借入金等利息支出	借入金に対して支払う利息です。

3）本学の収支状況全般について

（1）本学の教育活動収支

教育活動収支の概略は次表のとおりとなっております。

（千円）

科目	令和３年度	令和４年度	令和５年度	前年差異
学生生徒等納付金	2,813,906	2,724,107	2,696,555	▲ 27,552
手数料	39,700	38,858	34,849	▲ 4,009
寄付金	111,605	12,068	7,349	▲ 4,719
補助金	614,060	621,755	625,886	＋ 4,131
付随事業収入	216,472	140,614	129,414	▲ 11,200
雑収入	126,178	121,346	147,806	＋ 26,460
教育活動収入　合計	3,921,921	3,658,748	3,641,859	▲ 16,889
人件費	1,768,098	1,745,907	1,820,623	＋ 74,716
教育研究経費	1,324,682	1,372,970	1,397,697	＋ 24,727
管理経費	373,555	383,665	371,596	▲ 12,069
その他	3,530	3,059	3,031	▲ 28
教育活動支出　合計	3,469,865	3,505,601	3,592,947	＋ 87,346
（減価償却費除く）	3,225,894	3,254,047	3,322,526	＋ 68,479
教育活動収支差額	452,056	153,147	48,912	▲ 104,235
基本金組入前当年度収支差額	473,234	162,007	54,732	▲ 107,275

（2）教育活動収支に見る本学の財務概況

2023(令和5)年度は,昨年度に引き続き財務の健全性を維持するため経常収支差額のプラスを確保することを指標に設定し財政運営を行ってまいりました。

収入の部においては、学生数の減少により納付金収入が前年度対比 27.5 百万円減少、寄付金においても当年度は新規募集事業を行わなかった為 4.7 百万円減少しました。経常費補助金においては私立大学等改革総合支援事業に 3 タイプが選定され 4.1 百万円増加しました。付随事業収入においては、疾患検査センターによる PCR 検査料収入が減少し前年度比 11.2 百万円の減少となりました。これらの要因により事業活動収入は前年度比 16.8 百万円減少しました。

支出面においては、人件費が退職給与引当金繰入額の増加を要因として 74.7 百万円増加しました。教育活動経費においては教育環境の改善を目的とした手数料支出の増加等により 24.7 百万円増加しました。管理経費においては効率的な運営に努め 12 百万円減少しました。

結果として当年度基本金組入前収支差額は 54.7 百万円の収入超過（黒字）となり、経常費収支差額のプラスを確保することはできましたが,前年度より 107.2 百万円の減少となりました。

本学の財務状況については、平成 24 年度より連続して基本金組入前当年度収支差額段階での黒字化を達成しております。今後も中期計画に掲げている諸政策を通して収入増と支出減の両立を図り、財務基盤の安定に努め、教育研究活動を進めてまいります。

4）事業活動収支関連指標

（1）事業活動収支計算書の主要指標

事業活動収支計算書及び消費収支計算書から計算する主要指標は次表のとおりです。

	比　率	計算式	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	人件費比率	人件費 経常収入	45.1%	47.7%	50.0%
2	人件費依存率	人件費 学生生徒納付金	62.8%	64.1%	67.5%
3	教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	33.8%	37.5%	38.4%
4	管理経費比率	管理経費 経常収入	9.5%	10.5%	10.2%
5	基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入－基本金組入額	94.1%	98.9%	107.7%
6	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金 経常収入	71.7%	74.5%	74.0%
7	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	3.2%	0.7%	0.5%

(2)主要指標の解説および状況

	比　率	状　況
1	人件費比率	人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率です。人件費は学校における最大の支出要素であり､この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因になります。令和 5 年度は、学生数の減少をはじめとする経常収入の減少により、前年度に比べ比率が増加しましたが適正水準の範囲となります。今後も適正水準を保てるよう努めてまいります。
2	人件費依存率	人件費の学生生徒等納付金に対する割合を示す関係比率です。一般的に、人件費は学生生徒等納付金の範囲内に収まって 100%を超えないことが理想的です。令和 5 年度は学生生徒等納付金の減少により前年度に比べ増加していますが、今後も適正水準を保てるよう努めてまいります。
3	教育研究経費比率	教育及び研究に係る経費の経常収入に対する割合です。本指標については、教育及び研究に係る経費であることから、比率としては一定水準を維持することが望ましいと考えております。本学は 30%を超えており適正水準にあると判断できます。
4	管理経費比率	管理経費の経常収入に対する割合です。比率としては低い方が望ましいとされています。令和 5 年度におきましては、効率的な運営に努め減少いたしました。
5	基本金組入後収支比率	事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合です。 一般的には 100%前後が望ましいとされますが、臨時的な固定資産の取得等によって一時的に上昇する場合もあります。令和 5 年度は、空調システムをはじめ設備更新を実施した為、一時的に上昇しております。
6	学生生徒納付金比率	学生生徒等納付金の経常収入に占める割合です。令和 5 年度は、前年度より 0.5%減少しております。今後は、安定的な外部資金の獲得や寄付金の受領により納付金への依存率を下げていくことが求められます。
7	寄付金比率	寄付金の経常収入に占める割合です。一定水準の寄付金収入を継続して確保することが経営の安定のためには望まれます。令和5年度は前年度より0.2%減少しております。今後は、学内の寄付金募集体制を充実させ、一定水準の寄付金の安定的な確保に努めてまいります。

【地域連携室 Topics】

【SDGs】地域で考える「食・物」循環型支援プロジェクト

「食品ロス・食品ドライブ」の観点から、地方公共団体、各種団体より学生に対し、お米、野菜等の食材の支援を受け実施。これまでの活動により支援を受けた学生は延べ約 3,200 人

野菜提供元：わくわく広場（重尾町

【NIU キッズキャンパス】小学生を対象とした、子ども版公開講座

「学内：学生、学外団体：本学園・本学と包括連携協定締結団体」が参画し実施した小学生版:公開講座「NIU キッズキャンパス」、小学生に対し、「知の拠点」である本学の教育・スポーツ環境を利用した「学びの場」、「体験の場」を提供。

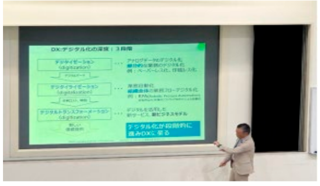
①サッカー教室

⑦災害時の食事

【公開講座】

誰でもわかる DX の基礎と現状～可能性しかない DX～

12 月に開催した社会人対象の公開講座、今回は「DX：デジタルトランスフォーメーション」について、「日本は『DX』でどう変わる？国の戦略…、働く視点では…」のテーマで開催。当日は、本学の学生も含め、市民の参加がありました。



【スポーツ支援・振興室 Topics】

【大学スポーツにおける安全安心認証制度「UNIVAS SSC」　長国際大学認証！】

日本初の安全安心認証「UNIVAS SSC」とは…
本制度は、大学スポーツ協会（UNIVAS）が安全で安心な大学スポーツ活動を実現するための環境整備に向け、日本初の大学スポーツにおける安全安心認証の制度として構築されました。
UNIVAS が策定した「安全安心ガイドライン」で推進すべき 13 項目を「評価項目」として設定し、一定の基準を達成すると UNIVAS SSC(安全安心認証)が付与されます。この認証付与を通じて、大学･競技団体による主体的な安全・安心環境の整備が推進されることとなります。

【九州文化学園小学校「放課後探求型授業」】

※4/15（月）テニス体験風景

本学強化指定部が「地域スポーツ振興活動」として、九州文化学園小学生対象に「放課後探求型授業」として部活動体験会を実施します。
4 月 15 日（月）担当：テニス部
5 月 20 日（月）担当：駅伝部
6 月 17 日（月）担当：野球部
10 月 21 日（月）担当：空手道部
11 月 18 日（月）担当：サッカー部
1 月 20 日（月）担当：バレーボール部

【令和 5 年度「NIU キッズチャレンジスポーツ」実施】

子どもたちにとって運動・スポーツとの楽しく素敵な出会いとなるようなプログラムを展開し、延べ 217 名の子どもたちが参加しました。

令和 6 年度は名称を変更し「NIU きらきらスポーツきっず（通称：きらスポきっず)」として展開します。

人間社会学部
社会福祉学科

はじめに（目次）

本ページは、保護者の皆様が確認したいと思われる事柄を次のとおりまとめたものです。ぜひ懇談会の際にお役立てください。

34･35p 学科教員紹介	40･41p 学科内の活動	44p ゼミ・設備
36~38p 成績の見方	42p 国家試験合格支援	45p 学費以外の費用
39p 年間スケジュール	43p 就職支援	46･47p 付録）カリキュラム表

学科教員紹介

はじめに、教員紹介をします。学科の運営は、副学長、学部長、学科長を柱に、総勢 17 名の教員で行っています。今回は、各教員がどのような教育を目指しているのか、その教育観やモットー等をご紹介します。

副学長）**木村 勝彦**

私の主な担当科目は「哲学」「倫理学」「宗教学」であり、これらの授業を通して「真理を探究する心」「社会的規範と良心」「多様性の理解と寛容」を皆さんに伝えたいと考えています。いずれも社会福祉にとって重要な視点です。

人間社会学部長）**井上 英也**

建学の理念にある「ホスピタリティの探求・実現」のもと、他者を尊重し支える力を身につけ、多様で変化の激しい時代において人々が支え合える社会の実現に向けて貢献する人材になって欲しいと考えています。

社会福祉学科長）**柳 智盛**

今を生きるすべての人々が「しあわせ」や「ゆたかさ」を感じられるよう、それぞれが望む幸福と社会的支援を提供できる人材育成を目指しています。本学科の学生一人ひとりも自分の夢を実現できるよう全教員が支援します。

教授）**大畠 啓**

学生の教養形成と国試対策を両立させる授業を目指します。

教授）**大町 いづみ**

「健康・福祉」とは何かについて、共に考え、学び、実践していきましょう！

准教授）**韓 榮芝**

多様な能力を身につけ、地域活動に取組める人材育成を目指しています。

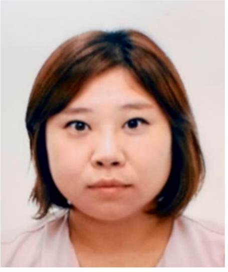
准教授）**梅野 潤子**

学生自身が自分の課題に向き合い、自立した学習者として学びを深めるサポートをします。

准教授）野田　健
私の教育の目標は「雨ニモマケズ」のデクノボー！

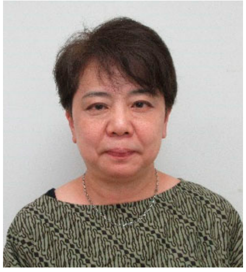
講師）浦　秀美
学びと実践の両立の大切さが伝わる教育を目指します。

講師）久田　貴幸
学生が楽しく興味を持って学べる教育を目指しています。



講師）裵　孝承
「わくわく！」する学生の将来を積極的にサポートします。

講師）丸山　貴志
福祉の多様なニーズに柔軟に対応できる人材育成を目指しています。



講師）足立　孝子
夢や希望を叶えるための支援とは何かを追求していきます。楽しく学ぶがモットーです。

講師）中村　尚生
知的好奇心を高めながら、共に充実した学びの場を作りましょう。

助教）山下　彦
成長を実感できる教育を目指しています。

助教）針塚　緑樹
学生相談室カウンセラーとして、学生生活をサポートいたします。

助手）金子　麻美
「人と人との繋がり」を大切に、学生生活をサポートいたします。

教職員のダンス
https://www.youtube.com/watch?v=CWkb-BXVydM

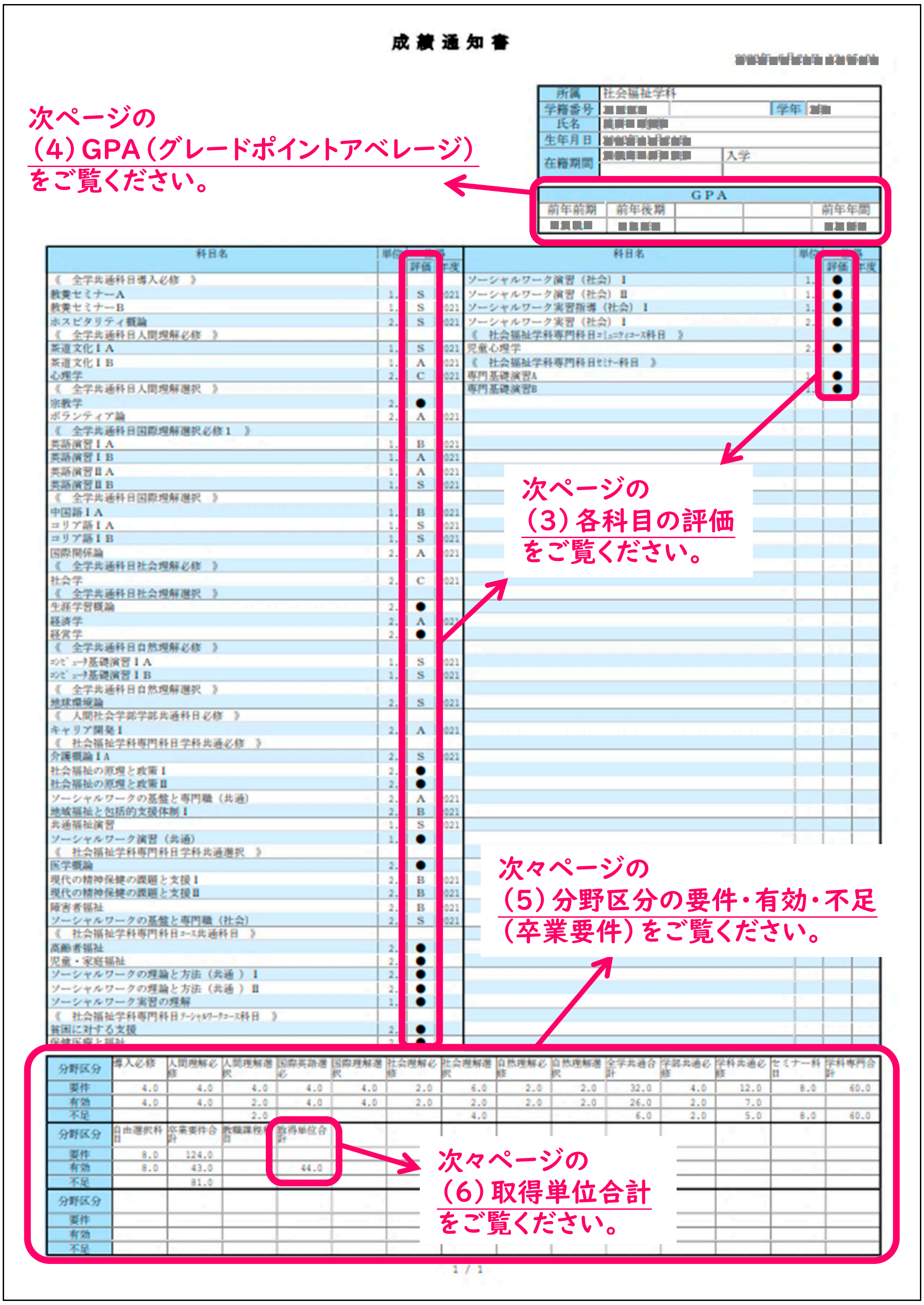
教員紹介
https://www1.niu.ac.jp/about/teacher/

成績の見方

ここでは、成績を確認する方法についてお伝えします。半年に １ 回お送りしています「成績通知書」と照らし合わせながらご覧ください。

（１） 成績通知書の見方（確認ポイント）

成績通知書



（２） 科目履修

科目には、それぞれ単位が定められており（例：科目「社会学」は ２ 単位）、学修効果を考慮して １ 年間に履修できる科目を原則 48 単位までとなっています。（複数の国家資格を目指し、うち１つが介護福祉士である学生等は、この限りではありません）。学生は、このルールに則り、毎年 ４ 月に １ 年間分の科目を別表「カリキュラム表」（46・47 ページ参照）を見ながら履修登録しています。

（３） 各科目の評価

評価		評点	グレードポイント
合格	S	100～90 点	4
	A	89～80 点	3
	B	79～70 点	2
	C	69～60 点	1
不合格	D	59 点以下	0
	F	出席不良・受験放棄	0
その他	●	履修登録中の科目	―

S～C は合格（単位取得）、D・F は不合格（単位未修得）です。D・F は、グレードポイントアベレージ（※下記（4）参照）に大きく影響しますので、次の ３ 点を守ることが大切です。

i ）よく考えて履修登録する
ii ）課題、予習復習を怠らない
iii ）欠席をしない

保護者の皆様へお願い

科目の評価を受けるためには、基本的に当該科目の全授業回数の 2／3 以上の出席が必要となります。例えば、授業回数 15 回の科目の場合、6 回欠席した時点で出席不良となり、不合格となります。

ついては、本学ホームページの「出席管理システム」にて出席率を見ることができますので、時折ご確認ください(ログイン ID とパスワードが必要)。

＜ 本学ホームページのホーム画面 ＞

（４）GPA（グレードポイントアベレージ）

本学では、学業成績を総合的に判断する指標として、GPA（グレードポイントアベレージ）制度を導入しています。GPA とは、履修した科目の成績を数値化し、平均値を算出することで、学修全体の達成度を明確にするものです。成績通知書には、年間の GPA と各学期の GPA を掲載しています。

GPA の見方

GPA 値	水準
3.0 以上	総合的に S・A の水準。
2.0 以上 3.0 未満	総合的に A・B の水準。
1.0 以上 2.0 未満	総合的に B・C の水準。
1.0 未満	総合的に C 未満の水準。

ご注意ください

学期の GPA 値が 1.5 未満になりましたら、ゼミ担当教員が面談を実施し、学修計画を立てるよう指導することになっています。また、1.0 未満が 3 期に渡り続いた場合は、退学勧告がなされることになっています。

（５）分野区分の要件・有効・不足（卒業要件）

本学のカリキュラムは、科目群で分け、それをさらに必修単位と選択単位に分けています（下表「卒業に要する最低取得単位」参照）。成績通知書では、それを「分野区分」として表記し、その必要単位数を「要件」「有効」「不足」で表しています。

なお、これとは別に、資格取得については、その資格の指定科目を確認する必要があります（46・47 ページ参照）。

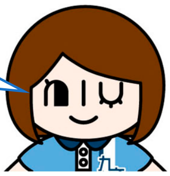
要　件	卒業要件となる、その分野区分の必要単位数
有　効	その分野区分の取得単位数
不　足	その分野区分の未取得単位数（不足＝要件－有効）

卒業に要する最低修得単位

科目群		選択単位	必修単位	必修科目[単位数]
全学共通科目群	導　入		4	教養セミナーA[1]，教養セミナーB[1]，ホスピタリティ概論（1 年生：ホスピタリティと SDGs）[2]
	人間理解	4	4	心理学[2]，茶道文化ⅠA[1]，茶道文化ⅠB[1]
	国際理解	4	4	英語演習ⅠA～ⅣB[各 1] の中から 4 単位
	社会理解	6	2	社会学[2]
	自然理解	2	2	コンピュータ基礎演習ⅠA[1]，コンピュータ基礎演習ⅠB[1]
学部共通科目群			4	キャリア開発Ⅰ[2]，キャリア開発Ⅱ[2]
学科専門科目群	学科共通科目		12	介護概論ⅠA[2]，社会福祉の原理と政策Ⅰ[2]，社会福祉の原理と政策Ⅱ[2]，ソーシャルワークの基盤と専門職（共通）[2]，地域福祉と包括的支援体制Ⅰ[2]，共通福祉演習[1]，ソーシャルワーク演習（共通）[1]
	コース科目	60		
	学科自由選択科目			
	セミナー科目		8	専門基礎演習 A[1]，専門基礎演習 B[1]，専門演習 A[1]，専門演習 B[1]，卒業研究[4]
自由選択科目※1		8		
卒業に要する最低修得単位		124（選択単位と必修単位の合計）		

※1 この「自由選択科目」は、各科目群の必須単位のほかに、さらに全領域の科目から 8 単位を修得しなければならないことを意味します。

ぜひ上記の表を「成績通知書」や 46・47 ページと照らし合わせてご覧ください。



（６）取得単位合計

「取得単位合計」の目安は以下のとおりです。学年が上がるほど科目の難易度も上がり、学外実習や就職活動等も入ってくるため、単位取得が難しくなります。1・2 年生での確実な単位取得が順調ラインに乗る鍵となります。

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
順調ライン※2	※1 20 (20)	40 (20)	60 (20)	80 (20)	97 (17)	114 (17)	120 (6)	124 (4)
心配ライン※3	16 (16)	32 (16)	48 (16)	64 (16)	80 (16)	96 (16)	112 (16)	124 (14)

※1 単位数の上段は取得単位数合計、下段の括弧はその学期の取得単位数を表しています。
※2 順調ライン：取得単位数数がこのライン以上であれば順調です。3・4 年次の学外実習や卒業研究、就職活動、国家試験の学修を問題なく行うことができるでしょう。
※3 心配ライン：取得単位数がこのライン未満であれば心配です。3・4 年次の学外実習や卒業研究、就職活動等と授業が重なり、思うような活動ができなくなるでしょう。

年間スケジュール

ここでは、令和６年度の年間スケジュールを表にしてお伝えします。

月
３月
２月
１月
12月
11月
10月
９月
８月
７月
６月
５月
４月

３月（春休み）

●４年生）卒業式：3／8（土）

●介護福祉士実習　２年生）12日間
　　　　　　　　　３年生）11日間

２月・１月

●後期試験期間
　1／24（金）～2／6（木）
●集中講義期間
　2／7（金）～2／10（月）
●追再試験期間
　2／17（月）～2／28（金）

●４年生）３福祉士国家試験
・介護福祉士：1／26（日）
・精神保健福祉士：2／1・2（土日）
・社会福祉士：2／2（日）

冬休み

後期授業期間
9／26（木）～12／25（水）
1／6（月）～1／23（木）

●全学年）大学祭（開国祭）
　11／2，3（土日）

●社会福祉士　２年生）８日間
　実習　　　　３年生）23日間

●介護福祉士　２年生）11日間
　実習　　　　４年生）23日間

●精神保健福祉士　３年生）27日間
　実習　　　　　　４年生）19日間

※ 精神保健福祉士の実習は、
　MHコース所属学生は３年次、
　SWコース所属学生は４年次。

夏休み

●前期試験期間
　7／26（金）～8／6（火）
●集中講義期間
　8／19（月）～8／21（水）
●追再試験期間
　8／22（木）～9／2（月）

●４年生）スクールソーシャルワーク
　　　　実習：10日間

前期授業期間
4／9（火）～7／25（木）

●１年生）入学式
●１年生）フレッシュマンセミナー
●全学年）健康診断

学科内の活動

コロナの影響で様々な活動を自粛してきましたが、今、少しずつ再開しつつ、新たな取組もはじめています。今回は、授業以外の活動に関しまして、その一部をご紹介します。

フレッシュマンセミナー（1 年次 4 月）

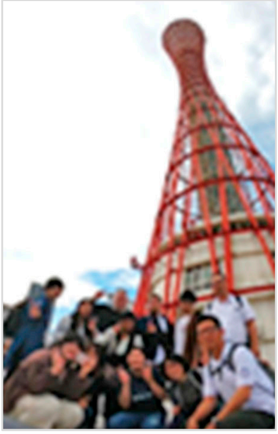
入学してすぐは誰もが様々な不安を感じると思います。
そこで、いち早く同期生や先輩方、教員と打ち解けられるよう、4 月中旬にハウステンボスに行き、楽しいひとときを過ごすようにしています。

合同企業説明会（3・4 年次：6 月）

将来どのような仕事に就きたいのかを考える機会として、大学に多くの企業をお呼びし、説明会を実施しています。

NIU ソーシャルワーク研修（海外・国内）

2016 年度から 2019 年度の期間は、韓国、東京、上海、神戸と国内外の福祉について学びに行きました。
コロナが収束してきた 2024 年度は、再び上海へ！



ボランティア研究センター

学生が自分のプライベート時間を有効に活用できるよう、ボランティア活動や地域で開かれる研修会等を案内しています。こうした活動が、地域貢献や自己研鑽につながればと考えています。

どれみふぁくらぶ

発達障がいのある地域の子どもたちの余暇活動支援として、月1回楽しい活動を企画して行っています。

手話サークル

NIU キッズキャンパスでの手話ミニ講座を開催したり、地域でのイベントで手話講座を開催したりと、地域の方々や子どもたちへ手話を広める活動をしています。

ボッチャ活動

国際観光学科と一緒に、ボッチャで人々がつながる活動をしています。

学問を究めたい という方へ

大学院は、より高度な知識を得たい、研究者を目指したいという人たちが集まってきます。

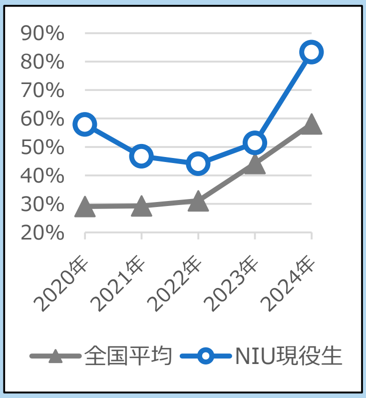
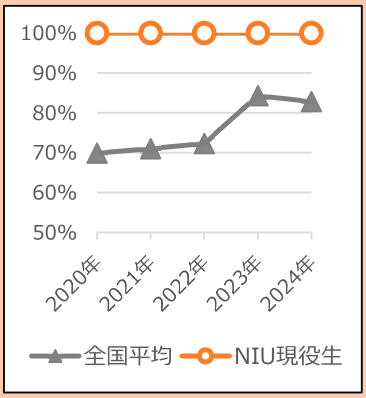
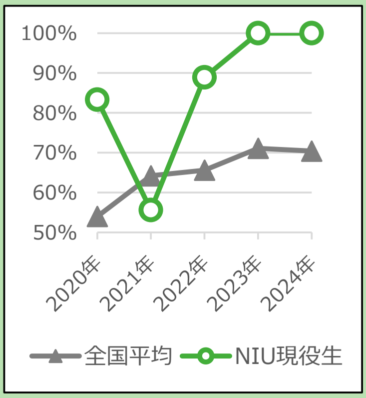
大学院（修士課程・博士後期課程）

本学には、さらに学問を追求できる環境として、修士課程（社会福祉学専攻）、ならびに博士後期課程（地域マネジメント専攻）を設けています。
近年、大学卒業後にすぐ大学院に入学する学生も増えつつあります。

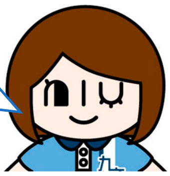
国家試験合格支援

ここでは、3 福祉士国家試験の合格率、合格支援についてお話しします。

（1）国家試験合格率（2024 年 3 月卒業生の合格率・過去 5 年データ）

	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士
本学	83.3%	100% 7 年連続	100% 2 年連続
全国平均	58.1%	70.4%	82.8%
過去 5 年データ			

国家試験の合格を勝ち取るためには、「絶対に合格するという決意」と「日々の学修の積み重ね」が不可欠です。それを支えるプログラムを用意しています。



（2）国家試験合格支援

社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の 3 福祉士は、いずれも①指定科目をすべて単位取得し、②1 月下旬・2 月上旬に行われる国家試験に合格しなければいけません。①の指定科目については、46～47 ページでご確認ください。②については、本学で取り組んでいる合格のための支援をご紹介します。

日々の勉強会、集中講座

最新の参考書等の貸出

国家試験用の勉強部屋

確認ﾃｽﾄ、模擬試験

ニーズ等確認面談

試験前日当日の移動・宿泊支援

合格する決意
日々の積み重ね
⇒ 国家試験 合格

就職支援

就職試験は、一般企業では３年次の３月頃、福祉系では４年次の６月頃から本格的にスタートしますが、その準備はｌ年次からはじまります。ここでは、その就職支援の内容と過去３年間の就職状況についてお伝えします。

（１）就職支援

キャリア形成を図るため、教育課程（授業）に「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ」等を設けているほか、本学では「キャリアセンター」を設置し、以下のスケジュールを立てて、就職支援を行っています。

	ｌ年次	２年次	３年次	４年次
ガイダンス	入学時 オリエンテーション		就職ガイダンス	就職ガイダンス
特別講座	・筆記試験（SPI 等）対策　・公務員対策 ・コンピュータ基礎　・教員採用試験対策　など WEB 資格講座			
お役立ち講座	・公務員解説講座　・マネー講座 ・スキルアップセミナー　・ロジカルシンキングセミナー　など			
企業研究	仕事の魅力発見セミナー	仕事の魅力発見セミナー OB／OG 訪問 インターンシップ	OB／OG 訪問 インターンシップ 学内外企業説明会	OB／OG 訪問 学内外企業説明会
その他	学生との個別面談（随時）	学生との個別面談（随時）	学生との個別面談（随時） 学内履歴書写真撮影会 ナビ登録会	学生との個別面談（随時）

（２）就職率（本学科の過去３年分）

福祉系に就職する割合は毎年変動しますが、おおよそ 6～7 割ほどとなっています。近年、福祉士国家試験合格が採用条件になっているところも増えており、高度な福祉専門職の需要が高まってきています。

		2021 年度		2022 年度		2023 年度	
就職率		85.2%		90.8%		94.3%	
分野別就職状況	ｌ位	障害者福祉事業	17.4%	卸売・小売業	22.0%	病院	18.8%
	２位	児童福祉事業	15.2%	児童福祉・教育事業	15.3%	児童福祉事業	16.7%
	３位	病院	13.0%	老人福祉・介護事業	15.3%	老人福祉・介護事業	14.6%
	４位	卸売・小売業	13.0%	障害児者福祉事業	10.2%	卸売・小売業	12.5%
	５位	老人福祉・介護事業	10.9%	病院・地域福祉	8.5%	障害者福祉事業	10.4%
	６位	サービス業	10.9%	公務員	8.5%	サービス業	10.4%
	７位	社会福祉協議会	4.3%	サービス業	6.8%	公務員	6.3%
	その他	その他	15.3%	その他	13.6%	その他	10.4%
	福祉系割合	65.2%		65.2%		64.6%	

ゼミ・設備

コロナ禍にゼミナール活動の充実や遠隔授業（Web 授業等）の整備等を行い、昨年度から少しずつコロナ前に行ってきた活動も再開しています。ここでは、代表的な教育体制の一部をご紹介します。

（１）ゼミナール（ゼミと略します）

本学科には、34・35 ページでご紹介したとおり、非常に多くの教員を配置しています。その利点を活かし、すべての学年でゼミ（少人数で学修を進めていく集まり）の体制を取り、ゼミ担当教員が学生一人ひとりの学修面や生活面、就職面のサポートをしております。大学生活に関する質問等がございましたら、ぜひゼミ担当教員までご連絡ください。

ゼミを形成する科目と活動

次の科目でゼミを形成します。
担当教員がゼミ学生を見守ります。

- １年次「教養セミナーA・B」
- ２年次「専門基礎演習 A・B」
- ３年次「専門演習 A・B」
- ４年次「卒業研究」

担当教員は、出席・成績等を管理し、学生一人ひとりと個別面談を半期に１回以上実施しています。

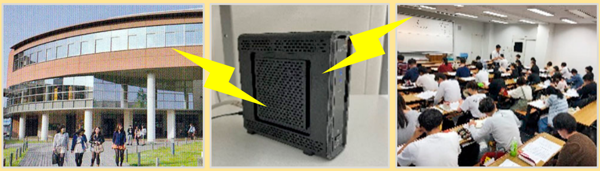
授業では少人数（2～10 人）で同じテーマを学修。時折、お楽しみ会なども行っています！

（２）設備

大学の設備について、とりわけご紹介したいものをご紹介します。

図書館（専門書・自習スペースを完備）

Wi-Fi（各教室に設置）



総合グラウンド（使いやすい人工芝）

ラーニングコモンズ（開放的な学修空間）

学費以外の費用

ここでは、令和 6 年度に学費以外でかかる費用に関してお伝えします。

（１）学費以外の費用

主な項目は表のとおり、①教科書、②学外実習、③国家試験学修・受験、④その他資格になります。お支払いは、それぞれ費用が掛かる際にその都度徴収しています。

教科書	教科書代は各科目によって異なります。3,000 円程度の科目もあれば、教科書を要しない科目、他の科目と同じ教科書を使う科目群もあります。ついては、目安として 1 科目 1,500 円程度とし、履修科目数で乗じますと概算が出ます。 例）前期に 12 科目履修した場合：12 科目×1,500 円＝18,000 円（概算）		
学外実習	社会福祉士	<2 年次> 8,000 円+交通費 <3 年次> 23,000 円+交通費	状況により、PCR 検査等の費用が別途かかることもあります。
	介護福祉士	<2 年次> （夏）11,000 円+（春）12,000 円+交通費 <3 年次> 11,000 円+交通費 <4 年次> 23,000 円+交通費	
	精神保健福祉士	<MH コース所属：3 年次> 27,000 円+交通費 <SW コース所属：4 年次> 19,000 円+交通費	
	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	<4 年次> 10,000 円+交通費	
国家試験学修・受験	社会福祉士	<4 年次> 62,000 円程度 （内訳：テキスト 10,000 円、模試 20,000 円、国家試験代 19,000 円程度、国試旅費 13,000 円程度）	
	介護福祉士	<4 年次> 45,000 円程度 （内訳：テキスト 6,000 円、模試 11,000 円、国家試験代 18,000 円程度、国試旅費 10,000 円程度）	
	精神保健福祉士	<4 年次> 72,000 円程度 （内訳：テキスト 7,000 円、模試 15,000 円、国家試験代 24,000 円程度、国試旅費 26,000 円程度） ※ 社会福祉士ダブル受験者の国家試験料は両方で 36,000 円程度	
その他資格	初級ﾊﾟﾗｽﾎﾟｰﾂ指導員	<4 年次>9,300 円 （内訳：申請手数料 5,500 円、登録料 3,800 円）	
	福祉心理士	<4 年次>30,000 円 （内訳：認定審査料 20,000 円、認定料 10,000 円）	

※ 学外実習、国家試験学修・受験は、年度により異なります。費用（学費以外）に関しまして詳しく確認されたい場合は、担当教員までご連絡ください。

（２）実習支援システムの費用（１・２年生対象）

今年度の 2 年生から、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の学外実習の記録等の電子化を導入しました。こちらのお支払いも、上記と同様にそれぞれ費用が掛かる際にその都度徴収します。

社会福祉士 or 介護福祉士のシングル資格希望者	<2 年次>8,800 円
精神保健福祉士のシングル資格希望者	<3 年次>8,800 円
社会福祉士・介護福祉士のダブル資格希望者※	<2 年次>8,800 円、 <3 年次>2,200 円
社会福祉士・精神保健福祉士のダブル資格希望者※	<2 年次>8,800 円

※ 社会福祉士と精神保健福祉士のシステムは併用可、社会福祉士と介護福祉士のシステムは併用不可のため、こちらの金額設定となっています。

付録：カリキュラム表

こちらは本学の科目を一覧にした「カリキュラム表」です。

単位修得した科目の単位数に〇を付けて、卒業要件（38 ページ参照）をどの程度満たしているか、ぜひご確認ください。

また、カリキュラム表に国家資格（42 ページ参照）の指定科目がわかるよう□印を入れておりますので、一度ご家族で資格取得を目指されるかご確認後、指定科目の単位取得についてもチェックしてみてください。

社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の指定科目に□印を付けています。

全学共通科目群

区分	科目	必修	選択	配当年次	社福	介護	精神	摘要
導入	教養セミナーA	1		1				4 単位必修
	教養セミナーB	1		1				
	ホスピタリティ概論（2 年生）	2		1				
	ホスピタリティと SDGs（1 年生）							
人間理解	哲学		2	1				8 単位（必修 4 単位を含む）以上を選択履修
	倫理学		2	1				
	宗教学		2	2				
	心理学	2		1	□	□	□	
	教育学		2	1				
	芸術論		2	1				
	文学論		2	1				
	茶道文化ⅠA	1		1				
	茶道文化ⅠB	1		1				
	茶道文化ⅡA		1	2				
	茶道文化ⅡB		1	2				
	茶道文化ⅢA		1	3				
	茶道文化ⅢB		1	3				
	茶道文化ⅣA		1	4				
	茶道文化ⅣB		1	4				
	ボランティア論		2	1				
	ダイバーシティとグローバル市民論		2	1				
	スポーツ実習 A		1	1				
	スポーツ実習 B		1	1				
	スポーツ実習 C（ｷｬﾝﾌﾟ実習）		1	1				
	スポーツ実習 D（ｽｷｰ・ｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞ実習）		1	1				
国際理解	英語演習ⅠA	※1	1	1				8 単位（選択必修 4 単位を含む）以上を選択履修【留学生（日本語が母語ではない学生を含む）の必修 4 単位は母語を除く任意の語学科目 4 単位で代替できる。】
	英語演習ⅠB		1	1				
	英語演習ⅡA		1	1				
	英語演習ⅡB		1	1				
	英語演習ⅢA		1	2				
	英語演習ⅢB		1	2				
	英語演習ⅣA		1	3				
	英語演習ⅣB		1	3				
	検定英語Ⅰ		4					
	検定英語Ⅱ		4					
	中国語ⅠA		1	1				
	中国語ⅠB		1	1				
	中国語ⅡA		1	2				
	中国語ⅡB		1	2				
	コリア語ⅠA		1	1				
	コリア語ⅠB		1	1				
	コリア語ⅡA		1	2				
	コリア語ⅡB		1	2				
	フランス語ⅠA		1	1				
	フランス語ⅠB		1	1				
	フランス語ⅡA		1	2				
	フランス語ⅡB		1	2				
	国際関係論		2	1				
	International Relations		2	2				
	異文化コミュニケーション論		2	2				
	比較文化論		2	1				
	世界文化遺産論		2	2				
	日本語入門 A		1	1				留学生対象
	日本語入門 B		1	1				
	日本語理解 A		2	1				
	日本語理解 B		2	1				
	日本語 A		2	1				
	日本語 B		2	1				
社会理解	社会学	2		1	□		□	8 単位（必修 2 単位含む）以上を選択履修
	生涯学習概論		2	2				
	法学		2	1				
	政治学		2	1				
	経済学		2	1				
	統計学		2	1				
	経営学		2	2				
	学際連携研究		2	1				
	地域の理解と連携		2	1				
	在宅医療概論		2	1				
	日本国憲法		2	2				
	ビッグデータと持続可能社会（2 年生）		1	2				
	ビッグデータ論（1 年生）							
	異文化適応演習 A		1	1				留学生対象
	異文化適応演習 B		1	1				
	日本事情Ⅰ		2	1				
	日本事情Ⅱ		2	2				
自然理解	健康科学		2	2				4 単位（必修 2 単位を含む）以上を選択履修
	基礎の化学		2	1				
	基礎の生物学		2	1				
	基礎の物理学		2	1				
	基礎の数学		2	1				
	地球環境論		2	1				
	コンピュータ基礎演習ⅠA	1		1				
	コンピュータ基礎演習ⅠB	1		1				
	コンピュータ基礎演習ⅡA		1	2				
	コンピュータ基礎演習ⅡB		1	2				

学部共通科目群

区分	科目	必修	選択	配当年次	社福	介護	精神	摘要
学部共通	キャリア開発Ⅰ	2		1				4 単位必修
	キャリア開発Ⅱ	2		3				

【46・47 ページの補足説明】

※1　10 科目のうち 4 単位は選択必修となります。

※2 受験にあたっては、「ソーシャルワーク実習（精神）Ⅰ」か「介護実習Ⅰ」の単位修得者は、読み替えることができます。

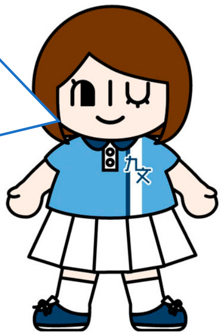
※3 受験にあたっては、「ソーシャルワーク実習（社会）Ⅰ」の単位修得者は、読み替えることができます。

・＊印が付してある科目は、そのコースに所属している等の履修条件があります。

・□印が付してある科目は指定科目（必修）となります。

・コース科目、学科自由選択科目から 60 単位以上を選択履修する必要があります。

確認のポイントは 3 点です。
これらをぜひチェックしてみてください。
①必修科目
②摘要の要件
（③希望資格の指定科目）



学科専門科目群

区分	科目	必修	選択	配当年次	社福	介護	精神	摘要
学科共通科目	医学概論		2	2	□	□	□	12単位必修
	介護概論ⅠA	2		1		□		
	介護概論ⅠB		2	1		□		
	介護基礎学Ⅰ		2	1		□		
	介護基礎学Ⅱ		2	1		□		
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2	1			□	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		2	1			□	
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2		2	□	□	□	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2		2	□	□	□	
	障害者福祉論		2	1	□		□	
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの基盤と専門職(共通)	2		1	□	□	□	
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの基盤と専門職(社会)		2	1	□	□		
	地域福祉の包括的支援体制Ⅰ	2		1	□		□	
	認知症の理解Ⅰ		2	1		□		
	認知症の理解Ⅱ		2	1		□		
	共通福祉演習	1		1				
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(共通)	1		2	□	□	□	
コース科目 コース共通	刑事司法と福祉		2	4	□		□	
	権利擁護を支える法制度		2	3	□		□	
	高齢者福祉		2	2	□			
	児童・家庭福祉		2	2	□	□		
	社会福祉調査の基礎		2	3	□		□	
	社会保障Ⅰ		2	3	□	□	□	
	社会保障Ⅱ		2	3	□		□	
	障害の理解Ⅰ		2	3		□		
	障害の理解Ⅱ		2	3		□		
	精神医学と精神医療Ⅰ		2	2			□	
	精神医学と精神医療Ⅱ		2	2			□	
	精神保健福祉の原理Ⅰ		2	2			□	
	精神保健福祉の原理Ⅱ		2	2			□	
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの理論と方法(共通)Ⅰ		2	2	□		□	
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの理論と方法(共通)Ⅱ		2	2	□		□	
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの理論と方法(社会)Ⅰ		2	3	□	□		
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの理論と方法(社会)Ⅱ		2	3	□			
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2	3	□		□	
	福祉サービスの組織と経営		2	4	□	□		
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習の理解		1	2				
	＊ 国家試験基礎演習		1	3				
	＊ 国家試験演習(共通)Ⅰ		1	4				
	＊ 国家試験演習(共通)Ⅱ		1	4				
コース科目 ソーシャルワークコース	貧困に対する支援		2	2				
	保健医療と福祉		2	2	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(社会)Ⅰ		1	2	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(社会)Ⅱ		1	2	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(社会)Ⅲ		1	3	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(社会)Ⅳ		1	3	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導(社会)Ⅰ		1	2	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導(社会)Ⅱ		1	3	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導(社会)Ⅲ		1	3	□			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習(社会)Ⅰ		2	2	※2			
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習(社会)Ⅱ		4	3	□			
	＊ 国家試験演習(社会)Ⅰ		1	4				
	＊ 国家試験演習(社会)Ⅱ		1	4				
コース科目 ケアワークコース	社会の理解		2	3		□		
	発達と老化の理解Ⅰ		2	3		□		
	発達と老化の理解Ⅱ		2	3		□		
	＊ 介護概論ⅡA		2	2		□		
	＊ 介護概論ⅡB		2	3		□		
	＊ 介護概論ⅢA		2	4		□		
	＊ 介護概論ⅢB		2	4		□		
	＊ コミュニケーション技術		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅠA		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅠB		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅡA		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅡB		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅢA		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅢB		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅣA		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅣB		1	2		□		
	＊ 生活支援技術ⅤA		1	3		□		
	＊ 生活支援技術ⅤB		1	3		□		
	＊ 介護における医療的ケアⅠ		4	3		□		
	＊ 介護における医療的ケアⅡ		2	3		□		
	＊ 介護過程Ⅰ		1	2		□		
	＊ 介護過程ⅡA		1	3		□		
	＊ 介護過程ⅡB		1	3		□		
	＊ 介護過程ⅢA		1	4		□		
	＊ 介護過程ⅢB		1	4		□		
	＊ 介護総合演習Ⅰ		2	2		□		
	＊ 介護総合演習Ⅱ		1	3		□		
	＊ 介護総合演習Ⅲ		1	4		□		
	＊ 介護実習Ⅰ		4	2		□		
	＊ 介護実習Ⅱ		2	3		□		
	＊ 介護実習Ⅲ		4	4		□		
	＊ 国家試験演習(介護)		1	4				
コース科目 メンタルヘルスコース	精神保健福祉制度論		2	2			□	
	精神障害リハビリテーション論		2	3			□	
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの理論と方法(精神)Ⅰ		2	3			□	
	ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの理論と方法(精神)Ⅱ		2	3			□	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(精神)Ⅰ		1	2			□	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(精神)Ⅱ		1	3			□	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習(精神)Ⅲ		1	3			□	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導(精神)Ⅰ		1	2			□	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導(精神)Ⅱ		1	3			□	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導(精神)Ⅲ		1	3			□	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習(精神)Ⅰ		2	3			※3	
	＊ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習(精神)Ⅱ		4	3			□	
	＊ 国家試験演習(精神)Ⅰ		1	4				
	＊ 国家試験演習(精神)Ⅱ		1	4				
コース科目 コミュニティコース	介護福祉論		2	2				
	加齢と障害に関する理解		2	3				
	健康・生きがいづくり総論		1	2				
	コミュニティづくり総論		2	3				
	児童心理学		2	2				
	障がい者スポーツ		2	3				
	介護援助技術		1	3				
	＊ コミュニティづくりフィールドワーク		4	3				
	生きがい情報士実習		1	4				
学科自由選択科目	家族法		2	3				
	行政法		2	3				
	公衆衛生		2	3				
	福祉特論A		2	3				
	福祉特論B		2	3				
	福祉特論C		2	3				
	福祉特論D		2	3				
	福祉特論E		2	3				
	福祉特論F		2	3				
	福祉特論G		2	3				
	福祉特論H		2	3				
	ｽｸｰﾙ(学校)ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ論		2	3				
	＊ ｽｸｰﾙ(学校)ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習		1	3				
	＊ ｽｸｰﾙ(学校)ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導(SSW)		1	4				
	＊ ｽｸｰﾙ(学校)ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習(SSW)		2	4				
	福祉現場実習指導		1	4				
	福祉現場実習		2	4				
	海外ソーシャルワーク研修		2	1				
セミナー科目	専門基礎演習A	1		2				8単位必修
	専門基礎演習B	1		2				
	専門演習A	1		3				
	専門演習B	1		3				
	卒業研究	4		4				

何かわからないところ等がありましたら、ゼミ担当教員がご対応いたします。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

教務関係資料

１．2024（令和６）年度　学年暦

２．成績表の見方及び GPA 制度の運用について

３．出席管理システムについて

1．2024（令和6）年度学年暦

☆ 前　期

1．入学式	:	4月　2日（火）
2．ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	:	4月　3日（水）～ 4月 8 日（月）
3．前期授業期間	:	4月　9日（火）～ 7月25日（木）
4．ﾌﾚｯｼｭﾏﾝ・ｾﾐﾅｰ	:	4月 13日（土）
5．前期試験期間	:	7月 26日（金）～ 8月 6 日（火）
6．集中講義期間	:	8月 19日（月）～ 8月21日（水）
7．追再試験期間	:	8月 22日（木）～ 9月 2 日（月）㊟
8．秋季卒業式	:	9月　7日（土）

☆ 後　期

1．後期授業期間	:	9月26日（木）～12月25日（水）
	:	1月　6日（月）～ 1月23日（木）
2．大学祭	:	11月　2日（土）　11月 3 日（日）
6．後期試験期間	:	1月24日（金）～ 2月 6 日（木）
7．集中講義期間	:	2月　7日（金）～ 2月10日（月）
8．追再試験期間	:	2月17日（月）～ 2月28日（金）㊟
9．卒業式	:	3月　8日（土）

㊟卒業年次生は別日程で実施

学部・学科によっては、この期間外にも実施することがあります。

上記各日程は予定です。事情により変更することがあります。予定を変更する場合は、教務課、学生課の掲示板などにより知らせます。

2．成績表の見方及びGPA制度の運用について

保護者の皆様に学生本人の学修成果（成績）を把握していただき、学修向上にご協力頂くために、年に2回、成績通知書を送付しております。大学生活を成績だけをもって評価をするのは適切ではないかもしれませんが、日頃の学修成果のあらわれの一つとして、参考にしていただき、学生を激励・ご指導ください。

本学では、教員が授業の質問や学生生活全般にわたる相談に応じるため、オフィスアワーを設けています。オフィスアワーでは、あらかじめ設定された時間帯に教員が研究室等で待機しています。ただし、会議や出張、実習の巡回等により在室できない場合があることをご了承ください。

また、教員が設定した時間以外でも在室中はできる限り対応しますので、積極的に、また気軽に研究室等を訪ねて、学業や学生生活上の諸問題を解決してください。

成績通知書の見方は次の通りです。

【成績通知書（見本）】

① 入学以来、履修登録をし、成績がついた全ての科目名であり単位未修得の科目も含む

② 科目ごとの単位数

③ 成績評価　※

④ 成績がついた年度

⑤ 分野区分に分けて、卒業に必要な単位、修得単位数、不足単位数を表記

（1）要件：卒業に必要な区分ごとの単位数

（2）有効：学生の修得した単位数

（3）不足：卒業要件単位数に不足している単位数

⑥ 学期ごとの GPA 値を記載

※成績評価

100 点を満点とし、60 点以上を合格、それに満たないものを不合格とします。評点と評価の関係は、次のとおりです。

評　点	評　価	評　点	評　価
100～90 点	S	60 点未満	D
89～80 点	A	出席不良等	F
79～70 点	B	単位認定	Q
69～60 点	C		

履修登録辞退制度による辞退　G

【GPA 制度について】

学生の学修意欲を高め、本学が掲げる学修目標達成のために、GPA 制度（Grade Point Average）を運用しております。これは、学んだ専門知識・技能をもとに積極的に課題解決にあたる人材を社会が求めていることを踏まえ、本学での学びをより高めて頂こうと考えてのことです。GPA の数値算出方法等につきましては、下記をご参照ください。

評　価		評　点	ｸﾞﾚｰﾄﾞﾎﾟｲﾝﾄ	評価基準
合　格	S	100～90 点	4.0	到達目標を十分達成し、きわめて優秀な成績を修めている。
	A	89～80 点	3.0	到達目標を十分に達成している。
	B	79～70 点	2.0	到達目標を達成している。
	C	69～60 点	1.0	到達目標を最低限達成している。
不合格	D	59 点以下	0	到達目標を達成していない。
	F	出席不良等		出席・試験（ﾚﾎﾟｰﾄ等の提出）の評価要件を欠格。

登録した各科目の成績（ｸﾞﾚｰﾄﾞﾎﾟｲﾝﾄ）にその科目の単位数を乗じた数値の総和を総登録単位数で除して算出し小数点第 2 位まで表記します。（小数点第 3 位は、四捨五入）

$$\frac{\text{4.0×S の修得単位数＋3.0×A の修得単位数＋2.0×B の修得単位数＋1.0×C の修得単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数（成績が DF の科目の単位数も含む）}}$$

【GPA 制度の運用について】

このGPA 制度の趣旨に鑑み、GPA が低い学生につきましては、大学として注意を促すことになっております。詳細につきましては下記の「長崎国際大学　GPA 制度運用に関する内規」をご参照ください。

「長崎国際大学　GPA 制度運用に関する内規」抜粋

（GPA の活用について）
第９条　GPA は、本学の学生の学修状況を確認し、成績分布状況の把握など、適切に成績を管理するため、次の各号に示す基準として用いるものとする。
⑷　退学勧告
２　前項第 4 号について、半期ごとの GPA において **1.0 未満の学期が 3 期連続**し、学業に対する熱意を欠き成業の見込みがないと判定された学生に対して、学長は**退学を勧告する**ことができる。

３．出席管理システムについて

長崎国際大学では、学生証を各教室に設置されているICカードリーダーにかざすことで、出席情報が集約される「出席管理システム」を導入しております。このことにより、学生自身が自分の出席を確認するのはもとより、各科目担当者、および担当教員も学生の出席状況（遅刻・欠席等）を適切に把握し、学修習慣、生活習慣の確立を促すことが可能となります。授業への出席だけがすべてではありませんが、まずは、授業に遅刻・欠席をすることなく授業中心の生活を送る習慣を身につけることが大事なことと考えます。

保護者の皆様も出席状況をご確認いただけますので、下記の要領でご活用ください。

【大学の授業について】

大学の授業は、1コマ90分となっており、全授業終了後、定期試験等による単位認定を行います。また、全授業のうち3分の2以上（例：全15回の授業は10回以上、全８回の授業は６回以上）出席していないと定期試験を受けることができません。

なお、一部教室変更や実習科目などにつきましては、教員による変更までの間「欠」と表示されている場合もありますので、予めご了承ください（2 コマ連続で実施される場合には、開始前に1回出席となり2 コマ目は「欠」と表示されている場合もあります)。

※遠隔授業については、科目担当教員が授業終了後手作業での管理を行っています。課題の提出状況等を考慮し出欠の判断を行いますので、出席管理システムへの出欠反映までに２週間程お時間をいただく場合があります。

【システムにログインするための「ユーザーＩＤ」と「パスワード」について】

- ユーザーＩＤ：学生の7桁の学籍番号の最初にＰをつけた８桁（半角英数）
  （例）Ｐ24●●●●●
  学籍番号は、直接ご子弟にお尋ねください。電話による問い合わせについては、対応いたしかねます。
- パスワード：学生の生年月日（半角英数）
  西暦の４桁、次に月の２桁、日にちの２桁の８桁
  （例）2003年1月10日生の場合 ➡ 20030110

〈注意事項〉

※ ユーザーＩＤ およびパスワードの変更はできません。

出席状況等の照会方法について

①出席管理システムへのログイン

長崎国際大学ホームページを開き、右側に並んだ「出席管理システム」のアイコンをクリックし、出席管理システムのログイン画面を表示する。

又は、次のＵＲＬからログインする。

ＵＲＬ：https://attend.niu.ac.jp/

②ユーザーＩＤ及びパスワードの入力

表示された「出席管理システムのログイン画面」から、前頁でお知らせした既定のユーザーＩＤ及びパスワードを入力し「ログイン」ボタンをクリック。

ログインＩＤ	7 桁の学籍番号の頭にＰをつける	（例）P24XXXXXX（半角英数）
パ ス ワ ー ド	8 桁の学生の生年月日	（例）2003 年 1 月 10 日生の場合 ➡ 20030110（半角数字）

⬇

「ユーザメニュー」が表示される

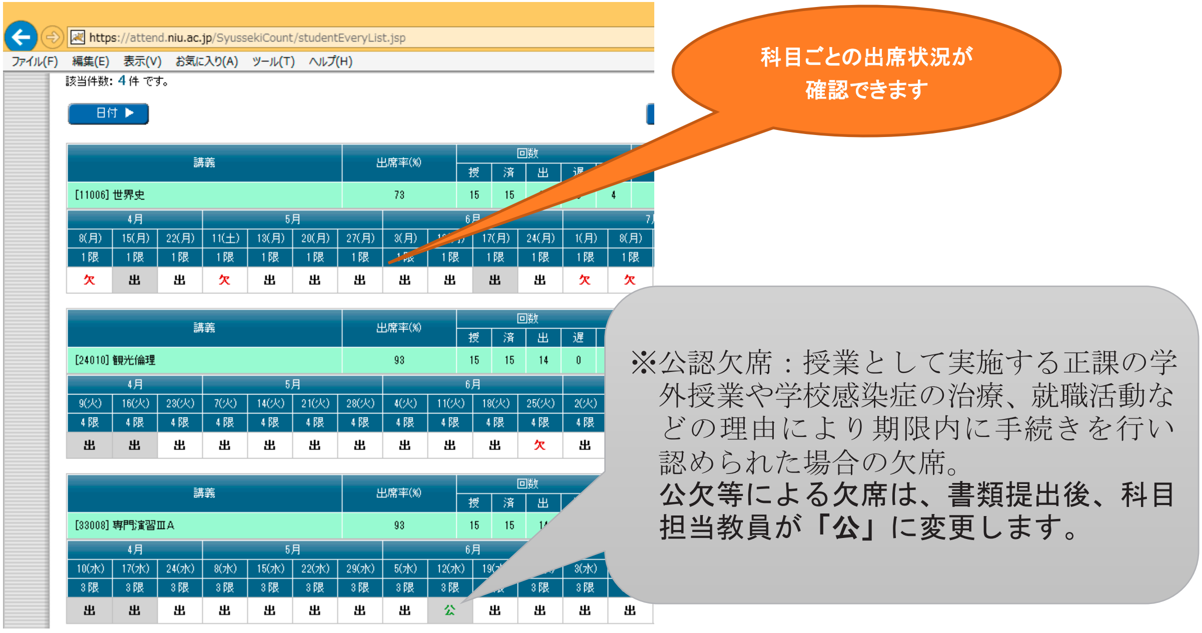
③ユーザメニュー

表示された「ユーザメニュー」から「出席状況」を選択しクリック。

（1）

（2）

（3）



学期の初めに履修登録した授業科目について出席状況が一覧で表示される。

〈表示される遅刻・欠席について〉

下記の時間帯を基本として表示します。授業開始 30 分後は、欠席となります。

講義開始 10 分前 カード受付開始　**講義開始 5 分後 遅刻開始**　**講義開始 30 分後 遅刻終了**　**講義終了 10 分前 カード受付終了**　**講義終了**

授業は 90 分間	受付画面	遅刻画面	原則、欠席として取り扱います	

「出」:出席　「遅」:遅刻　「欠」:欠席「休」:休講　「公」:公認欠席※

授業時間

1 時限	9：00 ～ 10：30
2 時限	10：40 ～ 12：10
3 時限	13：00 ～ 14：30
4 時限	14：40 ～ 16：10
5 時限	16：20 ～ 17：50

④ログアウト

「出席管理システム」画面の右上にある「ログアウト」をクリック。

茶道文化について

１．「茶道文化」の概要

（１）建学の理念と「茶道文化」

本学は建学の理念に「人間尊重を基本理念に、よりよい人間関係とホスピタリティの探求･実現、並びに文化と健康を大切にする社会の建設に貢献する教育･研究」を行うことと位置づけています。本学の教育の眼目とも言うべき「ホスピタリティ」の精神を、理論のみではなく、実践的に学ぶ教養科目として設置されているのが「茶道文化」です。本学では地元長崎県にゆかりの深い鎮信流を取り入れています。開学当初から鎮信流に基づく「茶道文化」を教養教育の根幹として推進してきました。

（２）「茶道文化」のあゆみと授業内容

授業は 1 年次から 4 年次まで開講されており、週 1 コマ半期 1 単位の科目として各学年に対応した内容を組み立てています。7～8 名の学生に対して 1 名の指導者が担当するという少人数教育を徹底しています。また、「茶道文化」は学内にある茶道文化研修棟「自明堂」と「不息庵」という茶室を使用して授業を行っています。

「茶道文化」の年表

年	事項
2000（平成 12）年	「全学共通科目」の「人間理解」の選択科目として始まる 研修棟「不息庵」（51 畳の広間と数寄屋）完成
2006（平成 18）年	研修棟「自明堂」（106 畳の広間）完成
2015（平成 27）年	1 年次開講の「茶道文化ＩA」と「茶道文化ＩB」が必修科目となる
2017（平成 29）年	「茶道文化ＩA」と「茶道文化ＩB」が初年次教育の 1 つとなる
2020（令和 2）年	「茶道文化研究所」完成

【1 年次：「茶道文化ＩA」、「茶道文化ＩB」】

茶道における基本的な礼法を身に付け、茶道実技の基本となる薄茶点前の習得を目指して授業を行います。今年度の前期は、学生の実技の習得状況を把握するための実技確認を実施しました。終了後は、それぞれの担当者より個別にフィードバックを行い、実技習得の向上に努めています。

また、佐世保市や平戸市など地域で開催される茶会へフィールドワークとして参加し、客作法の実践を行っています。

授業の様子

実技確認の様子

【2 年次：「茶道文化ⅡA」、「茶道文化ⅡB」】

濃茶点前の習得を目指して授業を行います。また、茶道につながる着付けや絵手紙、花生けといった様々な日本文化を体験するオプション授業を取り入れています。

今年は、前期に授業の一環として「第 11 回ハイスクール茶会 in ハウステンボス」の学生スタッフとしてサポートに当たりました。円滑な茶会運営のために茶席の案内や水屋の補助に携わり、コミュニケーション能力の向上に努めました。

ハイスクール茶会学生スタッフ

オプション授業（花生け）

【3 年次：「茶道文化ⅢA」、「茶道文化ⅢB」】

点前の基礎編から応用編へと進み、点前の中で示される「ホスピタリティ」、すなわち亭主（もてなす側）と客（もてなされる側）双方の心遣いや気配りについて、授業やミニ茶会を通して考えていきます。後期には、大寄せの茶会として 5 年ぶりに「観月茶会」を実施する予定です。

ミニ茶会の様子

観月茶会のイメージ

【4 年次：「茶道文化ⅣA」、「茶道文化ⅣB」】

4 年間の集大成として、学内外のお客様を招いた実践的な茶会を通して「もてなし」とは何かを学びます。前期は「波佐見茶会」を実施し、後期は寄付や懐石料理を含めた「卒業茶会」を行う中で、大寄せと茶事の違いについて比較します。また、裏方での準備・整理にあたる水屋仕事を体験することにより、一連の流れの中で「協働性」が芽生えていくことを目指しています。

波佐見茶会の様子

卒業茶会の様子

２．履修者数および資格取得者数

「茶道文化ⅠA・ⅠB」は平成 27 年度から必修科目、「茶道文化ⅡA～ⅣB」は自由選択科目で、令和 6 年度前期は、「茶道文化ⅠA」が 437 名、「茶道文化ⅡA」が 80 名、「茶道文化ⅢA」が 29 名、「茶道文化ⅣA」が 18 名、「茶道文化ⅠB（秋季)」」が 21 名、合計 585 名の学生が履修しています。

また令和 5 年度に、鎮信流の最初の免許資格状である「初歩伝」を取得した者は 62 名（国際観光：20 名、社会福祉：11 名、健康栄養：26 名、薬：5 名)。さらに上の「初伝」を取得した者は 9 名（国際観光：9 名）となっており、より高い段位を目指して研鑽を積んでいます。大学生活の中で希少価値のある茶道免許状の取得に結びつくことは、学生にとって魅力であり、就職活動においても自己を表現する一つのポイントとして大きく役立っています。

３．SA（スチューデント・アシスタント）の導入

茶道文化では、教育効果を高めるためにスチューデント・アシスタント制を導入しており、「茶道文化ⅠA～ⅡB」の単位取得者（3・4 年生および大学院生）の中から希望者を募り、特に熱心で技量・品格共に優れた学生を選抜し、「茶道文化ⅠA～ⅡB」の授業において後輩の指導に当たっています。これらの授業補助員は成績評価や単位認定には関与しませんが、授業において教職員と学生との意思疎通を促進する上で極めて大きな役割を果たしています。履修学生からは「補助員の先輩が教えてくださいましたが、とてもやさしく丁寧に教えて下さいました。そのおかげで、ちゃんとできるかという不安がなくなりました。」とのコメントが挙がっていました。

研修会の様子

補助員による指導風景

学生生活関係資料

１．学生生活について

２．奨学制度（奨学金）について

３．大学祭のご案内

４．キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターについて

学生生活

◆ 主な行事

4月	○入学式、オリエンテーション・健康診断 ○新歓祭（学生会主催による部・サークル新入生勧誘） ○フレッシュマンセミナー（大学主催による新入生研修）
6月	○クリーンキャンパス運動（大学内清掃活動） ○タバコポイ捨て撲滅運動（大学内および大学敷地外周道路周辺清掃活動） ○交通安全教室
7月	○学長 Café（学長と各学科の代表学生、学生会、留学生との双方向の意見交換）
11月	○クリーンキャンパス運動（大学内清掃活動） ○タバコポイ捨て撲滅運動（大学内および大学敷地外周道路周辺清掃活動） ○開国祭(大学祭)　【11月2日（土)、3日（日)】
2月	○学長 Café（学長と各学科の代表学生、学生会、留学生との双方向の意見交換）
3月	○NIU 賞授賞式　【3月7日（金）予定】 ○卒業式　【3月8日（土)】　卒業記念パーティー（卒業式終了後）

※その他、9月に秋季の卒業式（9月7日）・入学式(9月20日)・秋季フレッシュマンセミナー（9月28日)、不定期でボランティア活動など。

◆ 学生課の主な業務について

学生課では、学生生活全般の相談への対応から、部活・サークルなどの課外活動に関するサポート、在学証明書等の証明書や駐車許可書等の発行、奨学金関係業務などお子様が大学生活を有意義に送るための様々な支援を行っています。

◆ 学生相談

学生からの学生生活全般の相談に随時対応しています。学生のプライバシーを尊重し相談内容は厳守しながら、必要があれば学生課のみならず、担当教員や各部署と連携を図り、よりよい方向を模索します。保護者様もお子様が大学生活を送るうえで、気になる事などございましたらどうぞお気軽にご相談ください。

◆ 各種届・手続き

各種証明書発行 …… 本学では、オンライン申請・郵送申請・窓口申請が可能です。詳細につきましては、本学 HP をご覧いただくか学生課までお問い合わせください。

駐車許可証等の発行 …… 運転免許取得後、3 カ月を経過した学生で車両通学や二輪車での通学を希望する学生は手続きが必要です。駐車許可証の発行についてはいくつか条件がありますので、希望する際は学生課までお問い合わせください。

住所・連絡先の変更 …… 保護者及び学生本人の住所または電話番号に変更が生じた際は、学生課へ申し出てください。申し出が遅れると郵送物が届かない等の不利益を被る恐れがあります。

授業料等延納・分納 …… 特別の事情により、所定の期日までに納付することが困難な場合、申請することで、延納や分納が可能となります。
手続き期間は前期 4 月 30 日、後期 10 月 31 日までとしています。

休学・退学 …… 休学・退学を希望する場合はゼミ担当教員へご相談ください。その後、学生課にて必要な書類をお渡しします。前期より休学する場合は前年度の後期中（1 月中旬～2 月中旬まで）後期から休学する場合は前期中（7 月中旬～8 月中旬まで）にゼミ担当教員へ相談し、手続きを済ませてください。

手続きが遅れると次期の学納金が発生します。

◆ その他

学生課では、学生の皆さんが安心して大学生活を送れるように様々なサポートをしています。

アルバイト紹介

地域の企業様よりいただいたアルバイトの求人は、その都度求人要項をキャリアセンターオンラインに掲示しています。ただし、危険を伴うもの、人体に有害なもの、法令に違反するもの、教育的に好ましくないものなど不適当な職種や、大学生活に慣れてもらうため原則として入学後 3 カ月間は本学からの紹介は行いません。詳細は学生課窓口にてお問い合わせください。

身近な危険に対する注意啓発

成年年齢が 18 歳に引き下げられた事により、自己決定権が尊重される一方で親の同意なく学生自身の意志で様々な契約をすることができるようになりました。また、近年では、薬物の乱用も身近な所で起こっており決して他人ごとではありません。学生課では、薬物や悪徳商法などについて入学時のオリエンテーションでの指導やポスター掲示、外部講話を行い学生には注意喚起を促しています。

ハラスメント対策

大学内での様々なハラスメントに対応するため、ハラスメント対策委員会を設置しています。また、相談員や外部諮問員を配置し、外部相談窓口の設置、ガイドラインの作成をするなどして対応しています。
相談は、面談・電話・e メール・投書でも受けており、プライバシーは確実に保護されています。
相談員名および連絡先は本学ホームページをご覧ください。

➢ https://www1.niu.ac.jp/life/hotline/

各種行事

●学長 Café

学長と各学科の代表学生が、「よりよい大学をつくるため」の意見交換や学生からの要望等を聞く機会として、7 月・2 月の年 2 回開催します。
　学長 Café で学生よりいただいた意見や要望は、教員や各部署と共有し、優先順位をつけながら順次改善しています。

●保護者会

令和 6 年度の保護者会は、9 月 29 日（日）本学にて担当教員による対面での個別面談と、本学会場へ出席できない保護者様にも担当教員との個別面談が実施できるよう、オンライン面談（原則保護者様のご自宅から Zoom などで繋いで面談していただきます）の希望をとり実施いたします。

課外活動

●学生会活動

学生自治会です。卒業パーティーの企画・運営、学生総会の開催、各種イベント、部活やサークルの予算管理など、全ての学生がよりよい学生生活を送れるように活動しております。

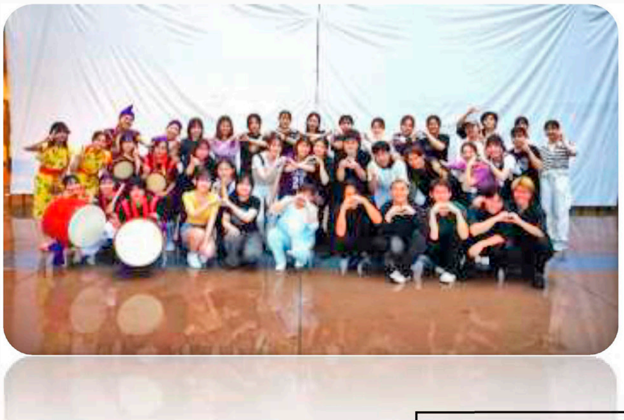
●新歓祭

学生会活動の一つである新歓祭は、新入生に対し緊張をほぐし学生同士の交流を深めるために行っています。内容は、レクリエーションや部活動紹介、今年度は軽音楽部のライブやエイサーの演舞も披露されました。

●卒業パーティー

卒業パーティーは、卒業式後に行われるイベントで、春と秋に行われます。令和５年度の秋季卒業パーティーはホテルローレライ、春季卒業パーティーは４年ぶりにハウステンボスにて開催となりました。
秋季卒業パーティーでは、約 60 名、春季卒業パーティーでは 116 名と多くの卒業生が参加しました。卒業生の素晴らしい笑顔を見ることができました。

●踊り屋祭



毎年、ダンスサークルとエイサーサークルが合同で学生の皆さんに演舞を披露する場として企画し、大盛況を博しているイベントです。昨年度に引き続き開催され、雨の中での開催となりましたが、活気溢れる学生たちの姿を見ることができました。

●部活動、サークル活動

令和６年度 公認団体
団体数/46 団体　部員数/1,081 人

体育会
強化指定部
団体数/13 団体
部員数/378 人

体育会運動部・
サークル
団体数/15 団体
部員数/360 人

同好会
団体数/4 団体
団体部員数/34 人

文化会文化部・サークル
団体数/13 団体
団体部員数/309 人

奨学制度(奨学金)について

【本学独自の奨学制度】

◆特待生制度

今年度在籍数：438 名

・入学試験において優秀な成績で合格した場合、入学金の半額または全額免除や授業料を減免する制度
※継続要件：GPA による要件の基準に満たない場合は「警告」、連続して受けた場合は降格もしくは取消となる（詳細は学科によって異なる）
※要件の基準を上回る場合、昇格することもある

◆同窓会特別奨励金

毎年 20 名採用

・長崎国際大学同窓会から在籍学生の就学の奨励及び学資に充てることを目的として長崎国際大学が受け入れた寄付金を原資に各学科から推薦された学生に 10 万円を給付する制度
※条件：経済的理由で就学が困難であると認められる者、他の給付型奨学金を受給していない…など

◆兄弟姉妹在籍者奨学金制度

今年度実績：6 組　13 名

・兄弟姉妹で本学に同時期に在籍している家庭に対し、各々の授業料の 10％を給付する制度
※条件：他の減免を受けていないこと　※毎年申請が必要（4 月に manaba にて案内）

◆障がい学生に対する修学支援費

昨年度実績：　1 名

・障がいのため修学上特別な負担を有する学生に対し修学支援費を給付する制度
※条件：障がい者手帳を有する学生、または、医師の診断書等により対象と認められた学生

その他

◆災害救助法適用地域の被害学生に対する授業料減免

◆英語資格特待生

◆薬学特待制度

【外部の各種奨学金】

●日本学生支援機構（貸与・給付）
●あしなが育英会（貸与・給付）
●岡田甲子男記念奨学財団（貸与）
●河内奨学財団（給付）
●江頭ホスピタリティ事業振興財団（給付）
●鉄道弘済会(貸与・条件付き給付)
●松藤奨学育成基金（貸与）
●東洋水産財団（給付）
●大学女性協会（給付）
●長崎県介護福祉士等修学資金（貸与・条件付き給付）
…その他、病院・薬局・企業・自治体の奨学金制度（就職を条件に給付など）

◆日本学生支援機構（JASSO）奨学金

奨学金の種類	給付奨学金+授業料減免	貸与奨学金	
	修学支援新制度	第一種奨学金	第二種奨学金
返還の有無	無し	有り（無利子）	有り（有利子）
金額（月額）	【第Ⅰ区分】（自宅)3.83万円　(自宅外)7.58万円 【第Ⅱ区分】（自宅)2.56万円　(自宅外)5.06万円 【第Ⅲ区分】（自宅)1.28万円　(自宅外)2.53万円 【第Ⅳ区分※】（自宅)0.96万円（自宅外)1.90万円 ※多子世帯に限る	2.3.4.5万から選択 最高5.4万円（自宅通学） 最高6.4万円（自宅外通学）	2～12万円から1万円単位で選択 （薬学部のみ）最高14万円
家計基準の目安	生活保護受給世帯、住民税非課税世帯、またはそれに準ずる世帯	（給与年収）～972万円 （給与所得以外）～678万円	（給与年収）～1,387万円 （給与所得以外）～1,003万円
申込時学力基準	成績：GPAが上位1/2位以内他	成績：上位1/3位以内	成績：平均以上 修学に意欲があり学業を確実に終了できる見込みがあること

◆日本学生支援機構（JASSO）奨学金スケジュール

【貸与奨学金・給付奨学金共通】

・4 月～6 月に奨学金の募集（説明会）をポートフォリオ「manaba」にてお知らせ（前期の募集は終了しました）
※後期の募集は 10 月頃、manaba にてお知らせいたします。
採用後はスカラネットパーソナル（奨学生専用サイト）への登録が必要です。
奨学金の振込は毎月 11 日です（4 月・5 月のみ振込時期が異なります。今年度は 4/19・5/16）

【貸与奨学金（卒業後返還が必要)】

・貸与奨学生として採用後は「返還誓約書」の提出が必要になります。
・適格認定……毎年学年末（説明会 12 月～2 月頃）留年した翌年度の奨学金は止まります。
・返還説明会……卒業する年度の 10 月～11 月頃、引き落し用口座の設定や返還について説明があります。

【給付奨学金】

・在籍報告……………毎年 4 月（初年度を除く）・10 月実施
・適格認定（家計）…毎年 10 月
・適格認定（学業）…毎年学年末（説明会 12 月～2 月頃）
※日本学生支援機構 HP 適格認定（学業等）にてご確認ください。
※基準に満たない場合は「警告」「停止」「廃止」となります。
※適格認定の結果は、4 月の振込をもって確認ができます。
◎自宅外通学について…「通学形態変更届（自宅外通学)」と必要な証明書類を提出しないと自宅外通学の給付額は支給されません。（審査完了後、自宅外通学開始月の差額が振込まれます）

家計急変により奨学金が必要になった場合は学生課窓口へすぐにご相談ください。事由が発生後、速やかに申し込みをお願いします。
（3 カ月を過ぎてしまうと申込ができない場合があります。）

■以下の事由が発生した場合、学生課へ申し出が必要です。

※手続きを行う場合は、提出期限があります。

・改氏名、住所変更
・退学、休学、復学
・転学、転学部（科）、編入学
・留学
・貸与月額の変更（増額・減額）※貸与奨学金のみ
・利率の算定方法の変更　※第二種奨学金のみ
・返還方式の変更　※第一種奨学金のみ
・連帯保証人、保証人の変更（住所変更等含む）※貸与奨学金のみ
・停止（奨学生による申出）※給付のみ
・通学形態の変更（自宅通学⇔自宅外通学）※第一種奨学金・給付
・振込口座の変更
・機関保証制度への変更（機関保証制度から人的保証制度への変更はできません）

★詳細は下の QR コードを読み取ってご確認ください。

日本学生支援機構（JASSO）「奨学金」
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html

文部科学省「高等教育の修学支援新制度」
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

奨学生のしおり
http://www.jasso.go.jp/shogakukin/shogakushiori/index.html

手続を怠ると奨学生資格が廃止されるため、

大学からの連絡には必ず対応するようお子様にお伝えください。

第 25 回　開国祭（大学祭）

皆様のお越しを実行委員一同、心よりお待ちしています。

【第２５回開国祭(大学祭)概要】

〈開催日時〉

１１月２日(土)・１１月３日(日)

〈テーマ〉

「REBORN（リボーン)」

〈イベント・催し物〉

- 学術展示／発表
- 模擬店、キッチンカー
- 各種ステージパフォーマンス（コンテストなど）
- 講演会（11/2）・トークショー（11/3）
- 大抽選会　…他

イベント等の詳細は
開国祭ホームページ
をご覧ください！

今年度のテーマは、「Reborn」です。「Re」には、再びという意味があり今年度だけでなく、次の節目に向けて再び活気のある開国祭を目指したいという思いを込めました。テーマである「Reborn」には、生まれ変わる・再生したという意味があります。開国祭の開催が 25 回目ということで、新しい試み（デジタルパンフレットの導入や、近隣の保育園児や高校生の出演など）を企画しております。また、開国祭に来場してくださるお客様が楽しみの限界を突破し、新しい自分に出会える機会となってほしいです。
節目の年である 25 回目ということで、学生だけでなく地域の方をはじめとした、ご来場いただく皆様の思い出に残る開国祭になるよう気持ち新たに実行委員一同、一生懸命準備しております。生まれ変わった開国祭をお楽しみください！ご来場お待ちしております！

第 25 回長崎国際大学大学祭実行委員会
実行委員長　岩瀬　文花（健康栄養学科２年）

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします

※以下の資料は全学生へ配付または配信しているものを掲載しております。

キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターについて
（2024/9/26改訂）

長崎国際大学には、大学生活を過ごされる学生の皆さんにきめ細やかなサポートを提供するためのキャンパスライフ・ヘルスサポートセンター（CHサポートセンター）があります。

センターは、「保健室」・「学生相談室」・「学生生活サポート室」の３つの相談窓口で、学生の皆さんの「からだ・こころの健康、修学・大学生活など」について、いつでも相談できる体制をつくっています。

キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターでの全ての相談の秘密は守られますので、安心して利用できます。

キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターには3つの相談窓口があります

「からだ」の相談窓口

＜保健室＞
開室時間：月～金 8:30～17:00
職　　員：室長（ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ兼務）、事務担当
　　　　　ｷｬﾝﾊﾟｽｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ、看護師　　計4名

健康相談、健康診断、応急処置
AED講習会、熱中症対策講習会

「こころ」の相談窓口

＜学生相談室＞
開室時間：(月)(水)(木)(金) 10:00～17:00
　　　　　(火)9:30～17:30
担　　当：カウンセラー（臨床心理士等）4名

- 心理相談
- 全学生対象の心の健康調査（UPI）
- NIUランチアワー（居場所づくり活動）
（毎週火曜日 12:10～13:40 場所：R201）など

コーディネーターが3室間の連携調整を行います。
- 学内の学部学科及び事務局の連絡調整
- カンファレンスの調整
- 修学上の配慮に関する申請
- 障がい学生に対する修学支援費申請

「修学・大学生活」の相談窓口

【相談支援】
＜学生生活サポート室＞
開室時間：月～金
①12:10～13:00②16:30～17:20
※水曜②は14:40～15:40
担　　当：各学部学科の教員、大学院生

- 大学生活面の相談
- 対人関係の相談（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝのｻﾎﾟｰﾄ）など

【障がい学生支援】
- 障がい学生支援コーディネーター
- 各学科のピア・サポート担当教員
- 各学部生、大学院生でピア・サポーター登録をしている学生
- ピア・サポート学生組織

ピア・サポートに関する活動

各窓口の開室時間・担当者

●保健室（職員4名）
＊開室時はいつでも利用可能です。

	月	火	水	木	金
8:30～17:00	保健室長・コーディネーター：内田 キャンパス・ソーシャルワーカー：田添 看護師：松永、事務担当：富永				

●学生相談室（カウンセラー4名）
＊利用には原則予約が必要です。

月	火	水	木	金
茂貫（女性）	針塚（女性）	松村（男性）	針塚（女性）	安川（女性）
開室時間は曜日によって違います。				
10:00～17:00	9:30～17:30	10:00～17:00	10:00～17:00	10:00～17:00

●学生生活サポート室（各学科の教員と大学院生）
＊自分の学科を問わず利用可能です。
開室時間を変更することがあります。

前期	月	火	水	木	金
12:20～13:00	菊地先生（健康栄養）女性	藤本先生（薬）女性	福森先生（薬）男性	大畠先生（社会福祉）男性	藤井先生（健康栄養）男性
16:30～17:20	佐野先生（国際観光）女性	藤井先生（薬）男性	大学院生 14:40～15:40	浦先生（社会福祉）女性	浦郷先生（国際観光）男性
後期	**月**	**火**	**水**	**木**	**金**
12:20～13:00	藤井先生（健康栄養）男性	岸原先生（薬）男性	大神先生（薬）男性	大畠先生（社会福祉）男性	吉永先生（健康栄養）女性
16:30～17:20	川上知先生（国際観光）女性	淀先生（薬）男性	大学院生 14:40～15:40	浦先生（社会福祉）女性	山内先生（国際観光）女性

＜修学上の配慮に関する申請制度＞

長崎国際大学では、障がいの有無に関わらず、すべての学生が、 有意義な学生生活が送れるよう、質の高い教育を受ける機会を保証しています。したがって、本学のすべての学生は、必要に応じて大学に対し修学上の配慮の申請を行うことができます。

利用の流れ

- STEP1 申請書を提出
- STEP2 面談
- STEP3 合理的配慮の提供内容検討会議で協議
- STEP4 学長による決定 決定内容の通知
- STEP5 合意する → 配慮開始 ／ 合意できない → STEP2へ戻る
- STEP6 配慮内容の確認・調整

面談では、修学上の様々な「困りごと」「配慮してほしいこと」を聴き取ります。

例えば
- デジタルカメラでの板書撮影を許可してほしい
- 定期試験で別室受験制度を利用したい
- 講義中の座席の位置を配慮してほしい　など

＜修学上の配慮に関する申請には以下の書類が必要です＞

①修学上の配慮に関する申請書
②配慮が必要な理由を証明するもの
（診断書、障がい者手帳の写し、出身校からの意見書など）

申請書はキャンパスライフ・ヘルスサポートセンターでも配布していますが、大学ホームページからもダウンロードできます。詳しくは、大学HPの「学生生活」→「修学上の配慮に関する申請手続き」のページをご覧ください。

＜ピア・サポート制度＞

ピア・サポートとは、仲間（peer）による支援（support）のことで、学内の移動のサポートやパソコン操作のサポート、講義中のノートテイクのサポートなど、修学や学生生活に関するサポートを受けることが出来ます。

利用の流れ

- STEP1 修学上の配慮に関する申請に基づく学長による決定
- STEP2 サポーターとマッチング
- サポート開始

ピア・サポーター募集！
- 活動に参加してみたい方
- 少しでも関心がある方

お気軽にキャンパスライフ・ヘルスサポートセンターまでおたずねください！

長崎国際大学ピア・サポート学生組織（通称「NPS」）
学生同士の助け合いや支援活動の充実向上を目的として2018年度に活動を開始！

＜活動内容＞
- 利用学生からの意見集約
- 定期ミーティングの開催
- 先進校視察
- 大学キャンパスのバリアフリーマップ作成など

活動に参加してみたい方はお気軽にCHサポートセンターまでご相談ください！

Twitterで活動内容を発信！
@niu_ps_so

＜障がい学生に対する修学支援費制度＞

長崎国際大学では、障がいのある学生を対象に修学にかかる費用の支援を行っています。「身体障がいのためホームヘルプサービスによる通学支援にかかる費用を申請したい」「視覚障がいのため補助機器を購入したい」など、修学にかかる費用について相談することができます。※支給額には上限があります。

利用の流れ

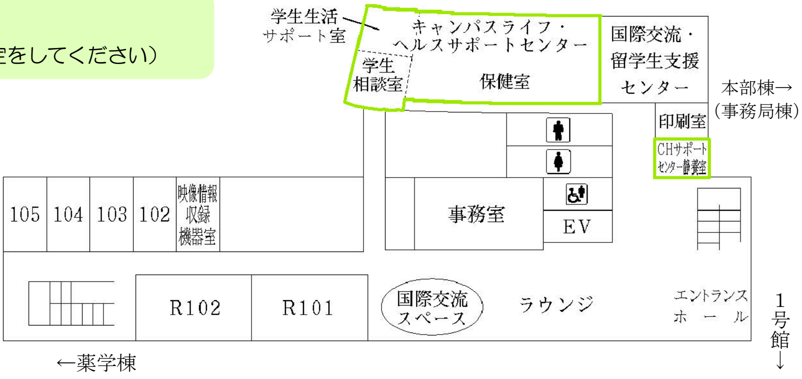
- STEP1 申請書を提出
- STEP2 面接
- STEP3 CH運営委員会にて審議
- STEP4 学長による決定 支給内容の通知
- 支給開始

障がい学生に対する修学支援費制度に関する申請書一式はキャンパスライフ・ヘルスサポートセンターで配付しています。

まずはお気軽にご連絡・ご来室ください

Tel：0956-20-5835（直通）
Mail：ch-c@niu.ac.jp（※メールの受信設定をしてください）

キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターは人間社会学研究棟1階にあります。



国際交流・留学関係資料

国際交流・留学と活動

本学は、「異文化を理解し国際社会に貢献できる人材の育成」を教育目標の一つとして掲げており、海外への派遣留学、外国人留学生の受入れと支援、日本人学生と外国人留学生との交流、地域の国際交流などに取り組んでいます。

国際交流・留学生支援センター

国際交流・留学生支援センターでは、海外派遣留学支援、外国人留学生の受入れと学生支援生活支援全般を行っています。日本語、中国語、韓国語、英語での対応が可能です。

海外留学や国際交流についての相談を受け付けております。

国際交流活動「留学生との共修・共働」

長崎県内の高等教育機関 11 校に在籍する日本人学生と外国人留学生との共修・共働を通して、地域社会に貢献し、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指すことを目的に活動している「長崎発グローカル人材育成プログラム」という事業があり、本学が県北地域拠点校の役割を担っています。本事業を通じて、学生の異文化理解能力、実践力、あらゆるフィールドで必要とされる課題解決能力が涵養されます。

【連携校】

県南地区：長崎大学、長崎県立大学シーボルト校、活水女子大学、鎮西学院大学、長崎純心大学、長崎総合科学大学、長崎女子短期大学

県北地区：長崎国際大学、長崎県立大学佐世保校、長崎短期大学、佐世保工業高等専門学校

留学プログラム

「長期派遣交換留学プログラム」と「短期留学プログラム」を提供しております。どちらも、本学と協定を締結した大学のキャンパスへ留学し、プログラムを修了することで本学の単位に読み替えることが可能です。長期派遣交換留学は、派遣先大学が示す語学力の要件を満たして入れば、現地の通常の授業の履修も可能です。要件を満たしていない場合は、語学集中コースで徹底的に言語を学ぶことになります。

長期派遣交換留学プログラム

本プログラムは、本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学との間で、留学生を相互に派遣、受入れる制度です。現在、交換留学可能な提携校は 10 ヶ国・地域の 43 校です。本学の交換留学生として海外の大学に派遣される場合、様々メリットがあります。留学期間は 1 年以内です。

●提携校・形態・派遣時期・期間

国地域	大学名	留学形態	開始時期
中国	厦門大学嘉庚学院	専門	春季/秋季
	浙大城市学院	専門	春季/秋季
	瀋陽大学	語学/専門	春季/秋季
	浙江樹人大学	語学/専門	春季/秋季
	山西大学商務学院	語学/専門	春季/秋季
	香港伍倫貢学院	語学	春季/秋季
	東莞理工学院	語学/専門	春季/秋季
	通化師範大学	語学/専門	春季/秋季
台湾	中国文化大学	語学/専門	春季
	中台科技大学	語学/専門	春季/秋季
	建国科技大学	語学/専門	春季/秋季
	国立台中科技大学	語学/専門	春季/秋季

韓国	東西大学校	専門	春季/秋季
	韓国観光大学校	専門	春季/秋季
	慶北化学大学校	語学	春季
	慶南情報大学校	専門	春季/秋季
	忠清大学校	語学/専門	春季/秋季
	湖西大学校	専門	春季/秋季
	順天郷大学校	語学/専門	春季/秋季
フィリピン	ﾗｲｼｳﾑ・ｵﾌﾞ・ｻﾞ・ﾌｨﾘﾋﾟﾝ大学	語学/専門	春季
	ICCT 大学	語学	春季/秋季
	パーペチュアル大学	語学	春季/秋季
	聖ドミニク大学	語学	春季/秋季
	ラプラプセブ国際大学	語学	春季/秋季
イギリス	チチェスター大学	語学/専門	春季/秋季
	イーストサセックス大学	語学	春季/秋季
	ﾊﾞｰﾄﾝ＆ｻｳｽﾀﾞｰﾋﾞｼｬｽ大学	語学/専門	春季/秋季
アメリカ	ハワイ大学カピオニラ校	語学	春季/秋季
	アーカンソーテック大学	語学/専門	秋季
	トロイ大学	語学/専門	秋季
	エバレットコミュニティ大学	語学/専門	春季/秋季
	カリフォルニア大学サンマルコス校	語学	秋季
	シラキュース大学	語学	秋季
	ウィノナ大学	語学/専門	秋季
	メイン州立大学	語学	秋季
カナダ	レッドリバー大学	語学/専門	春季/秋季
	オカナガン大学	語学	春季/秋季
	トンプソンリバーズ大学	語学/専門	春季/秋季
オーストラリア	ニューカッスル大学	語学/専門	春季/秋季
	ボンド大学	語学/専門	春季/秋季
フランス	Y SCHOOLS	語学	秋季
オランダ	ブレダ大学	専門	秋季
	サクシオン大学	語学/専門	秋季

※派遣国や派遣大学の事情等により留学内容が変更になる場合があります。詳しくは国際交流・留学生支援センターにお問い合わせください。

留学奨励金

長期派遣交換留学プログラムによる派遣留学生に対して、毎年 10 人を上限として留学奨励金が支給されます。

JASSO（日本学生支援機構）海外留学支援制度

長期派遣交換プログラムによる派遣留学生に対して、JASSO（日本学生支援機構）の制度に採択された場合、返済不要の奨学金（給付型）を受け取ることができます。

交換留学と一般留学

交換留学提携校の枠にとらわれず留学をすることができます。

交換留学と一般留学の違いは下表のとおりです。

	交換留学	一般留学
留学できる大学	提携校に限る	自由に留学先を選べる
出願条件	あり	
本学による審査	あり	
本学による留学許可	必要	
留学中の学籍上の取扱	本学の修業年限に参入される	
帰国後の単位認定	科目によってできる	
本学の学費支払い義務	あり	
留学先の学費支払い義務	提携校による	あり
本学独自の奨学金	あり（10 名を上限とする）	なし

短期留学プログラム

「夏季短期留学」・「春季短期留学」の 2 プログラムがあり、長期休暇を利用して本学協定校に約 1 か月間、英語学習を目的に留学するプログラムです。語学学習はもとより、現地学生との交流の機会、その土地の文化や習慣にふれる機会も多数あります。研修費用は為替レート、国際情勢で変動がありますが、北米約 760,000 円、フィリピン　約 380,000 円程度です。(航空費、授業料、寮もしくはホームステイ費を含みます。)
毎年 4 月に参加者募集の詳細をリリースします。留学に関する詳しい内容については国際交流・留学生支援センターに問い合わせてください。

留学体験談

【夏季短期留学：トンプソンリバーズ大学（カナダ)】

人間社会学部国際観光学科　門川　莉子　留学時期：1 年次夏季

私は、留学中、単語学習や文法の習得、現地の人とコミュニケーションをとることを目標に頑張りました。毎晩文法・単語の復習をしていたため、次の日に現地の人たちと会話した際には、自分が復習した文法や単語を使って会話することができました。また、現地の大学では観光を中心とした様々な分野の英語に触れることができ、グループ・ペアワーク・単語のテスト、プレゼンテーションなどを学び、授業外では、トランポリンパーク、レイク、ロッククライミングに行くことができました。授業の中で日本人学生と日本語で話してしまうことがあったのは反省点ですが、カナダの人々は、フレンドリーで話しかけてくれた人と少しでも長く話すことができたことはとても良かったと思います。

授業で日が経つにつれて、リスニング力が向上していくことを実感し、先生が言っていることもほとんど理解できるようになりました。グループワークの際も意見を述べることができていたのでコミュニケーション能力をあげることもできたと思います。

私は、滞在中ホームステイを経験し、ホストファミリーと一緒にリンゴ狩りに行ったり、映画鑑賞をしたりと交流を深めることができました。また、自分の意見をはっきり言わなければならない環境にあったため、自分の意見を英語で伝えることができるようになったと感じます。次の長期留学に向けてこの留学で身に付けた英語力を維持できるよう後期の学修についてもしっかり取り組んでいきたいと思います。

プログラムの様子　夏季短期留学トンプソンリバーズ大学（カナダ）

国際交流・留学生支援センターからのメッセージ

留学のメリット

これからの変化が激しく、予測が困難で、正解のない時代を生きていくためには、

「未来を切り拓く力」が必要です。

留学で得られる、6つの成長体験

① 外から日本を見る機会 ▸ 視野の拡がり

② 知らないことを知り、知りたいことを知る機会 ▸ 世界への関心

③ 違う価値観に触れ、意味を知る機会 ▸ 多様性受容

④ 己のことや日本を知る、知りたいと思う機会 ▸ アイデンティティ

⑤ 飛び込むことに自信を持つ機会 ▸ 自己肯定感

⑥ 逃げないで苦労する機会 ▸ ストレス耐性

▼

留学によって視野を広げ、自分に力をつけることでその後の人生の選択肢が大きく拡がります。

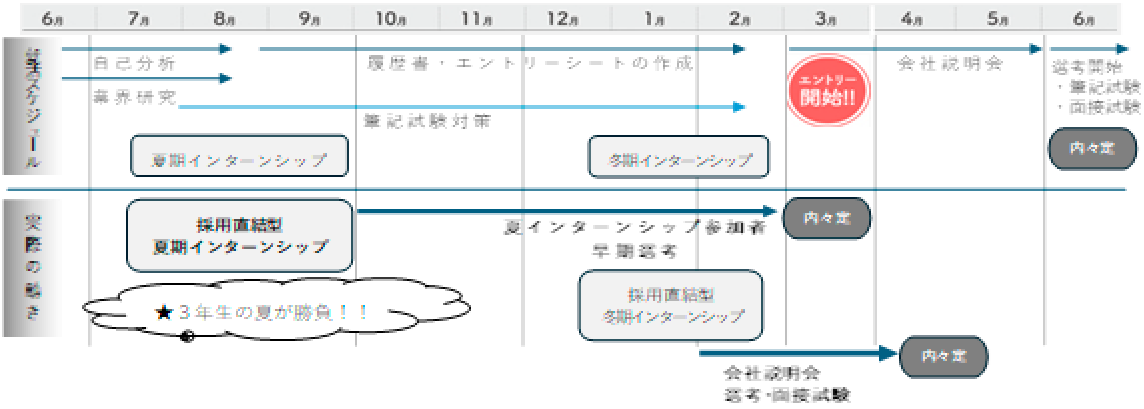
お問い合わせ先

国際交流・留学生支援センター

【連絡先】TEL：0956-20-5677　　E-mail:kokusai@niu.ac.jp　　担当：平野、趙

就職支援関係資料

【就職活動に向けてのスケジュール】



政府主導の就職・採用活動日程では、4 年生（薬 6 年生）の「3 月に採用情報公開・エントリー受付開始」「6 月に面接などの選考開始」となっています。しかし企業等による人材獲得競争は年々激しくなっており、それを受けここ 2 年程度で就職活動が急速に早期化しています。 その影響により 3 年生(薬 5 年生)の夏のインターンシップからが事実上就職活動スタートになっており、早めの就職活動に対応するべく準備や心構えが必要となります。

【キャリア形成支援プログラム概要】

個別対応

キャリアセンターでは国家資格である「キャリアコンサルタント」の有資格者をスタッフにそろえ、就職活動開始の第一歩である履歴書やエントリーシートの添削をはじめ、「自己分析」「業界研究」「企業研究」のサポートをしています。また選考過程で最も重要視される「面接」対策も対面・オンラインで対応しています。本学学生専用の就職支援サイト「NIU キャリアセンターオンライン」では就職にかかわる関連情報はもちろん、キャリアセンターでの各種対応予約も可能です。

インターンシップ

全学部・全学科のインターンシップ希望者のサポートを実施しており、学生一人ひとりの希望やキャリアプランにあったインターンシップ先を紹介します。また、事前指導や参加中もきめ細やかなフォローアップを行い、学生の不安を解消します。

キャリアアップにつながる特別講座・セミナー

就職筆記試験対策（e ラーニング）、WEB 資格講座、県内・職場見学バスツアー、仕事の魅力発見セミナー

【就職支援プログラムの概要】

就活写真撮影会

就職活動で使用する写真の撮影会を学内で実施しています（有料）。メイクやヘアセットはプロの美容師、撮影はプロのカメラマンが担当しており、利用学生にも大変好評です。この撮影会が就職活動に向けたスイッチを入れる動機付けにもなっています。

公務員対策講座

公務員を目指す学生を対象に開講し、社会福祉士、管理栄養士、薬剤師などの専門職で公務員を目指す場合も、教養試験が試験科目にあるので対策として利用できます（講座数は年間で 104 回＋模試 3 回）。ダブルスクールで学ぶよりも約 1/5 の受講料で受講が可能です。

就職ガイダンス

就職活動のポイントとなるタイミングにあわせて学科毎に就職ガイダンスを開催しています。「自己分析」や「エントリーシート＆履歴書の書き方」、「面接試験対策」、「マナー講座」などを通して、就職活動に役立つスキルを修得します。

学科別学内企業説明会

就職活動が本格化する 3・4 年次（薬学科か 5・6 年次）には多くの企業担当者を大学に招き、学科別に学内企業説明会を開催しています。本学では毎年、企業との結びつきを深め、参加企業を増やすよう取り組んでいます。

【保護者の方へのお願い】

就職活動資金の準備

コロナ禍がきっかけとなり WEB 面接も定着したことから、交通費の負担額は減少傾向にあります。一方で選考が進むと最終面接は対面を採用する企業が現状でも多くあり、一定の交通費の準備が必要となります。以下の表を参考に就職活動に掛かるコストについてお子様と共有し、スムーズな活動ができるようフォローしていただければと思います。

■就職活動全体にかかった平均金額の比較

大学生_全体（就職希望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生／数値回答）※大学院生除く　　（円）

	就職活動全体にかかった平均金額				差
	2024年卒（2023年6月12日時点）	2023年卒（2022年6月12日時点）	2022年卒（2021年6月12日時点）	2020年卒（2019年6月12日時点）	（24年卒－23年卒）
全国	82,905	75,245	72,034	128,890	7,660
九州	94,751	84,393	78,368	156,989	10,358

出典：リクルート 就職みらい研究所調べ

メンタル面でのフォロー

就活生に聞いた！　保護者との関わりでよかったことは？

① 個性を尊重し自分の活動を肯定してくれた

② 普段と同じ態度、見守り役、聞き役に徹してくれた

③ 物質的支援をしてくれた

その他（励まし・癒し・心の支えになってくれた、食事面・生活面の援助をしてくれた）

出典：リクルート 就職みらい研究所調べ

エントリーシートの作成や筆記試験、グループディスカッション、WEB 面接や集団面接など様々な課題や複雑な面接を突破しなければならなく「内定か不採用か」という非常にシビアな結果を突きつけられるため、お子様のメンタル面も不安定になります。また近年売り手市場が続いているからこそ、過度の重圧を感じてしまい「就活うつ」という言葉までも出回ってしまっています。ぜひお子様のメンタル面でのサポートをお願いします。

大学周辺の医療機関（略図）

佐世保市役所HP<休日・夜間の急患診療>
https://www.city.sasebo.lg.jp/hokenhukusi/iryose/iryo.html

佐世保市立急病診療所の診療案内
https://www.city.sasebo.lg.jp/hokenhukusi/kyujit/annai.html

佐世保市立急病診療所　☎0956(25)3352
※平日夜間・休日のみ対応
※佐世保市高砂町5-1
　すこやかプラザ（中央保険福祉センター）1階

佐世保市消防局　☎0956(23)8199
※平日の夜間や休日の救急医療機関案内窓口

↑受診前に連絡が必要です。

その他、以下のサイトで詳しく検索できます。
ながさき医療機関情報システム　http://iryou.pref.nagasaki.jp/

MEMO

－　お問い合わせ先一覧　－

◎　教務課（授業・時間割、単位・履修など）
TEL／0956-39-2020　　E-mail／kyomu@niu.ac.jp
◎　学生課（学生生活、奨学金など）
TEL／0956-20-5566　　E-mail／gakusei@niu.ac.jp
◎　国際交流・留学生支援センター（国際交流、海外留学、外国人留学生の入学など）
TEL／0956-20-5677　　E-mail／kokusai@niu.ac.jp
◎　キャリアセンター（就職情報、就職相談など）
TEL／0956-20-5566　　E-mail／career@niu.ac.jp
◎　地域連携室、スポーツ支援・振興室（地域連携、公開講座、履修証明プログラムなど）
TEL／0956-39-2020　　E-mail／renkei@niu.ac.jp
◎　会計課（学納金・財務情報など）
TEL／0956-39-2020　　E-mail／kaikei@niu.ac.jp
◎　薬学事務室（薬学科に関することなど）
TEL／0956-20-5611　　E-mail／pharm@niu.ac.jp
◎　図書館（図書貸出・利用指導その他図書に関することなど）
TEL／0956-20-5560　　E-mail／library@niu.ac.jp
◎　入試・募集センター（入試・資料請求・進学相談会・オープンキャンパスなど）
TEL／0956-39-2020　　E-mail／kikaku@niu.ac.jp
◎　キャンパスライフヘルスサポートセンター（心身の健康、修学上の配慮に関することなど）
TEL／0956-20-5835　　E-mail／ch-c@niu.ac.jp
◎　総務課（その他・広報関係など）
TEL／0956-39-2020　　E-mail／ga-s@niu.ac.jp